



Linking your dreams
リンテック株式会社

ESG

Data Book 2025

各ページ左下のボタンをクリックすると、総合目次ページに移動します。

目次

環境マネジメント

環境マネジメントシステム

内部監査

環境教育

環境コンプライアンス

マテリアルフロー

環境配慮製品の開発

環境配慮製品のガイドライン策定と運用

気候変動の緩和と適応

CO₂排出量削減に向けた取り組み(スコープ1、2、3含む)

TCFDに基づく情報開示

循環型社会の実現

廃棄物の削減

自然共生

用水の使用と排水

生物多様性保全のための取り組み

環境負荷化学物質の管理

PRTR法への対応

VOC排出量の削減

化学物質管理、EUにおける各種環境規則への対応

環境保全コスト

環境保全コスト

環境マネジメントシステム

ISO14001認証取得状況(2025年3月末時点)

審査登録証No	JP08/070484.00	
国内登録事業所数	15	全社EMS事務局、本社、吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、龍野工場大屋加工所、新宮事業所、小松島工場、三島工場、土居加工工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、研究所 先端技術棟、東京リンテック加工株式会社
海外登録事業所数	9	琳得科(蘇州)科技有限公司、普林特科(天津)標籤有限公司、 リンテック・アドバンス・テクノロジーズ(台湾)社、リンテック・コリア社、 リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社、 リンテック・インドネシア社、マディコ社、リンテック・タイランド社

参照先 > リンテックグループ品質・環境・事業継続方針(会社方針一覧)

> 第三者検証

内部監査

内部監査員・相互監査員資格者数

	対象範囲	2024年度末時点
内部監査*1員資格者数	ISO14001国内登録事業所	625
相互監査*2員資格者数	ISO14001国内登録事業所	75

*1 拠点内でその拠点に所属する者が行う監査

*2 異なる二つの拠点がほかの拠点に行う監査

内部監査実施状況

	2024年度
国 内	ISO14001国内登録全事業所
海 外	ISO14001海外登録全事業所

環境教育

環境教育一覧(国内)

開催内容	2024年度延べ参加人数
認識教育	4,796
法令教育	713

リンテック環境・安全インフォメーション発信実績

2024年度(件数)	20
------------	----

▼ 発信例

2024.7.18
環境部 E24-009

環境ニュース

第三者検証

●毎年発行されている“サステナビリティレポート”には、エネルギー・二酸化炭素・用水・廃棄物に関する数値が公表されています。この数値(パフォーマンスデータ)は、SGS ジャパンの第三者検証を受けています。今年も検証が終わり適切に算定されていることが確認されました。
(7月3日付検証意見書を受領済み)

★検証対象
Scope1 及び Scope2、
電力購入量、取水量、
排水量、廃棄物発生量、
VOC 排出量。

★対象期間
2023 年 4 月 1 日～
2024 年 3 月 31 日

検証項目	検証範囲	検証結果
1 Scope 1, 2 (エネルギー・二酸化炭素)	Scope 1: 19,000 t-CO ₂ Scope 2: 12,000 t-CO ₂	合格
2 電力購入量	1,000 MWh	合格
3 取水量	1,000 t	合格
4 排水量	1,000 t	合格
5 廃棄物発生量	1,000 t	合格
6 VOC 排出量	1,000 t	合格

第三者検証においては、データ提出をいただき協力ありがとうございました。
この検証意見書は環境報告に記載されている CO2 排出量、廃棄物発生量、VOC 排出量などの数値として公表され、株主、投資家などのステークホルダーに対しての信頼性のある数字の提供へと繋がっています。
今後さらに、環境データ関連の開示要求は高くなり、記載する数値の重要性も必然的に高くなっていくと言えます。
データの収集、算出には多大な労力を必要とし、関係部署には負担をかけるかと思いますが、企業としての信頼性の向上の為に、引き続きご協力をお願いいたします。

2024.5.17
環境部 E24-003

環境ニュース

「環境コミュニケーション」を開催

開催日: 2024 年 3 月 7 日 (木)
主 催: リンテック株式会社、東京リンテック加工株式会社
参加者: 計 21 名
(近隣自治会・町会 8 名、行政 5 名 (埼玉県、蕨市、さいたま市)
化学物質アドバイザー 1 名、リンテック 7 名) その他傍聴者数名

内 容: (1) 化学物質アドバイザー講演 「PRTR 制度と環境コミュニケーション」
(2) リンテック株式会社講演 「リンテック株式会社の紹介」
(3) 東京リンテック加工株式会社 工場見学
(4) 意見交換

「環境コミュニケーション」とは、当社の事業内容や取り扱う化学物質などに関する情報を住民の方や行政との対話を通じて、正確な情報を共有し、相互理解と課題の抽出を図るために行う取り組みのことです。
研究所においては今回が初開催であり、東京リンテック加工株式会社と合同開催とし、蕨市とさいたま市から 4 自治会・町会の 8 名をお招きしました。
リンテックからは株主所長より当社の事業概要や環境への取り組みについて報告し、環境負荷の低減対策として、CO₂ 排出量削減や揮発性有機化合物 (VOC) 排出量削減について数値目標を設定し、重点的に取り組んでいることを説明しました。
その後、東京リンテック加工株式会社に工場見学を実施しました。住民の方は普段見かけない機械も多く、大変興味深く見学されていました。
最後の意見交換では、各自治会・町会から多くの質問・意見があり、活発なものとなりました。短い時間ではありましたが、本会により住民・行政・当社間で情報共有が進められ、有意義であったと考えています。
この取り組みはさいたま市のウェブサイトにも公開されています。[ここをクリック](#)

開催風景

工場見学

以上

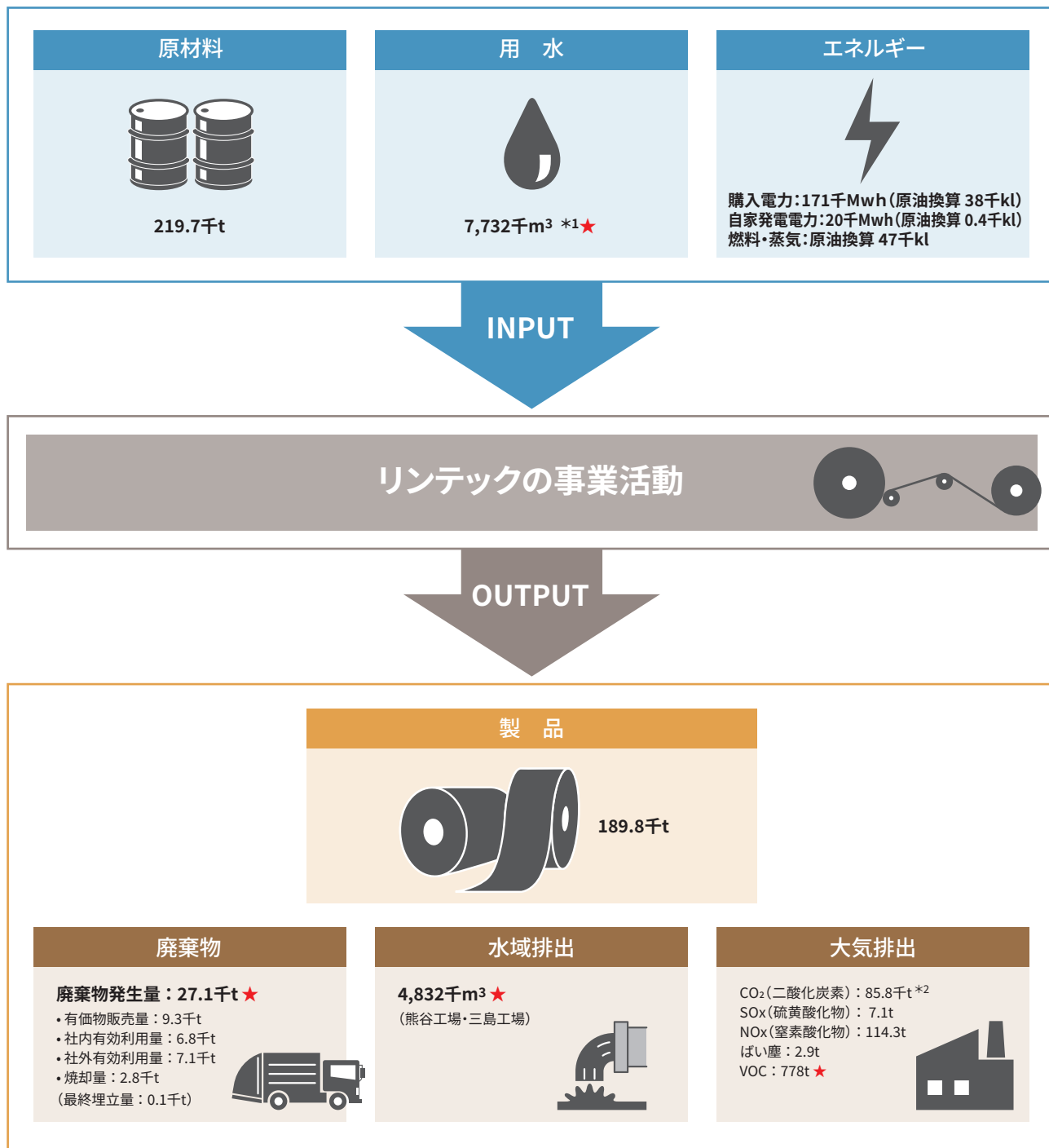
環境コンプライアンス

■ 重大環境法令違反件数

2024年度は、ISO14001国内登録事業所において重大環境法令違反（罰金や制裁措置）はありませんでした。

マテリアルフロー

2024年度マテリアルフロー



対象範囲：リンテック(株)および東京リンテック加工(株)

*1 対象範囲：リンテック(株)生産拠点、国内非生産2拠点および東京リンテック加工(株)

*2 対象範囲：リンテック(株)、東京リンテック加工(株) 湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

環境配慮製品のガイドライン策定と運用

環境配慮製品*の開発件数

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
59	69	81	40	52	73

対象範囲：リンテック(株)

* 製品設計時にライフサイクルの視点を考慮し、環境負荷低減効果が認められた製品。

製品事例

参照先

> [ニュースリリース] 再生PET樹脂を100%使用したガラス用フィルム
※ トピックスページ内に移動します。

> [ニュースリリース] 繰り返し貼って剥がせるラベル素材「RE CHILL」
※ トピックスページ内に移動します。

CO₂排出量削減に向けた取り組み(スコープ1、2、3含む)

● リンテックグループのCO₂排出量ロードマップ

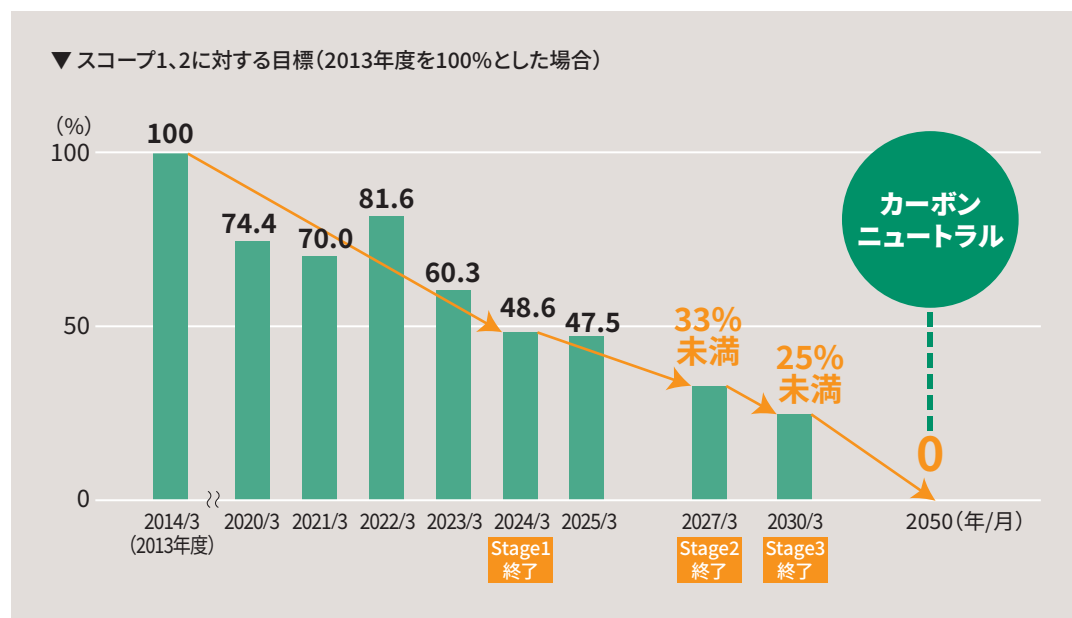
● エネルギー総使用量とCO₂排出量

- 購入したグリーン電力
- 非化石エネルギー比率
- エネルギー総使用量(原油換算)
- スコープ1、2
- スコープ3

● 各種取り組み

- 省エネルギー法への対応
- 太陽光発電システム導入実績
- コージェネレーションシステムの導入実績
- フロン漏洩に向けた取り組み
- 物流における取り組み

リンテックグループのCO₂排出量ロードマップ



エネルギー総使用量とCO₂排出量

■ 購入したグリーン電力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
グリーン電力購入分(GWh)	34	35	80	91	100
熱量換算値(千GJ)	335	342	778	790	864
グリーン電力による削減効果(千t-CO ₂)	16.1	16.0	33.8	41.0	42.2
省CO ₂ 投資による削減効果(千t-CO ₂) (2019年度からの累積値)	2.8	7.1	9.3	14.2	24.5

対象範囲：リンテック(株)およびリンテック(株)の営業拠点、リンテックサインシステム(株)(リンテック(株)本社敷地内分)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、
リンテックカスタマーサービス(株)(リンテック(株)伊奈テクノロジーセンター敷地内分)、東京リンテック加工(株)

※ 省エネ法(排出事業者係数)基準で算出。

※ 省エネ法(温対法)基準で算出。

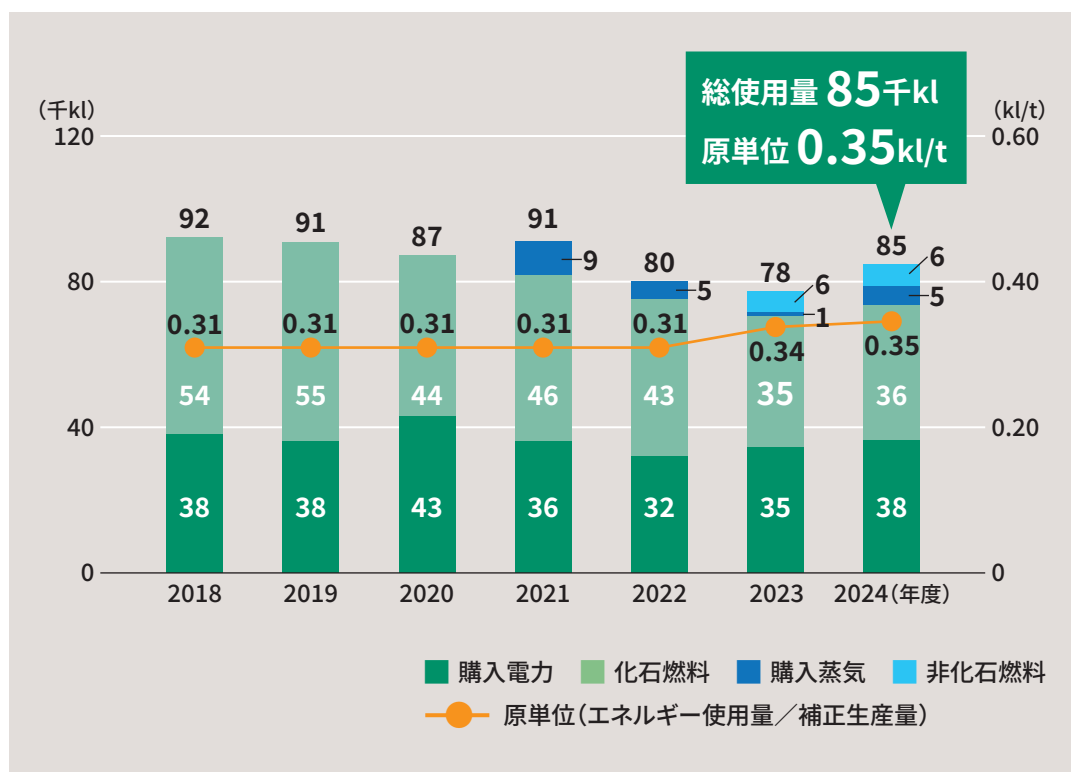
■ 非化石エネルギー比率

2022年度	2023年度	2024年度
29.6%	35.1%	32.9%

対象範囲：リンテック(株)およびリンテック(株)の営業拠点、リンテックサインシステム(株)(リンテック(株)本社敷地内分)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、
リンテックカスタマーサービス(株)(リンテック(株)伊奈テクノロジーセンター敷地内分)、東京リンテック加工(株)

※ 省エネ法の改正により2023年度より非化石エネルギー(RPF)を追加。

エネルギー総使用量(原油換算)



対象範囲：リンテック(株)およびリンテック(株)の営業拠点、リンテックサインシステム(株)(リンテック(株)本社敷地内分)、湘南リンテック加工(株)、
リンテックサービス(株)、リンテックカスタマーサービス(株)(リンテック(株)伊奈テクノロジーセンター敷地内分)、東京リンテック加工(株)
※ 省エネ法の改正により2023年度より非化石エネルギー(RPF)を加味。

スコープ1、2

国内

単位：t-CO₂

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
スコープ1	112,200	85,385	88,998	83,639	70,661	69,662★
スコープ2	90,486	62,577	76,409	35,779	28,084	35,061★
Jクレジット(無効化された数量)			▲6,500	▲6,500	▲12,000	▲18,762★
グリーン熱証書(無効化された数量)				▲406	▲383	▲127★
算出排出量	202,686	147,962	158,907	112,512	86,362	85,834

対象範囲：リンテック(株)、東京リンテック加工(株)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

海外

単位：t-CO₂

		2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
琳得科(蘇州)科技 有限公司	スコープ1	1,772	1,046	377	374	286	358
	スコープ2	3,189	2,835	3,624	2,815	2,326	2,163
	合 計	4,961	3,882	4,001	3,189	2,611	2,521
リンテック・ スペシャリティー・ フィルムズ(台湾)社*1	スコープ1	2,969	362	555	229	69	106
	スコープ2	1,751	3,926	3,861	2,479	2,480	1,004
	合 計	4,720	4,288	4,416	2,709	2,549	1,110
リンテック・コリア社	スコープ1	2,505	2,635	2,850	2,770	2,499	2,559
	スコープ2	3,835	3,724	3,849	3,772	3,830	3,956
	合 計	6,340	6,359	6,700	6,542	6,329	6,515
リンテック・ スペシャリティー・ フィルムズ(韓国)社*2	スコープ1	1,088	604	622	452	276	83
	スコープ2	3,714	3,819	3,842	2,784	4,165	1,250
	合 計	4,802	4,422	4,464	3,236	4,441	1,333
リンテック・ インドネシア社	スコープ1	2,691	875	1,225	1,262	1,289	1,137
	スコープ2	6,524	2,321	3,111	2,903	2,878	2,756
	合 計	9,215	3,196	4,336	4,165	4,167	3,893
リンテック・ インダストリーズ (マレーシア)社	スコープ1	2,065	1,758	1,815	984	887	1,001
	スコープ2	5,046	2,984	2,875	1,552	1,333	1,539
	合 計	7,111	4,742	4,690	2,537	2,220	2,540
リンテック・タイランド社	スコープ1	—	1,100	1,199	1,024	857	1,211
	スコープ2	—	2,463	2,364	1,482	1,218	1,618
	合 計	—	3,562	3,563	2,506	2,075	2,829
マディコ社	スコープ1	1,461	3,232	3,375	2,591	2,272	2,422
	スコープ2	3,437	4,641	3,963	3,558	3,439	3,518
	合 計	4,898	7,874	7,339	6,149	5,711	5,940
マックタック・アメリカ社	スコープ1	—	8,189	24,075	16,047	12,258	13,545
	スコープ2	—	6,458	11,991	14,115	11,286	11,199
	合 計	43,679	14,647	36,065	30,163	23,544	24,744
その他*3	スコープ1	—	146	151	137	137	146
	スコープ2	—	5,350	6,012	4,084	3,238	2,776
	合 計	6,488	5,496	6,164	4,221	3,375	2,922
合 計	スコープ1	—	21,604	38,480	26,361	20,829	22,568
	スコープ2	—	36,864	43,258	39,056	36,192	31,778
	合 計	92,214	58,468	81,738	65,416	57,021	54,346

*1 2024年9月まで操業後、閉鎖

*2 2024年6月まで操業後、閉鎖

*3 普林特科(天津)標簽有限公司、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社、VDI社、営業拠点

■ スコープ3

単位：t-CO₂

カテゴリ項目		2021年度 (基準年度)	2023年度	2024年度	対象範囲
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,298,463	1,228,927	1,324,865	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ2	資本財	42,977	69,836	51,739	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ3	スコープ1、2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	65,090	46,572	50,649	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	96,312	102,227	118,096	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	27,868	14,330	13,767	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ6	出張	671	712	690	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ7	雇用者の通勤	2,426	2,576	2,498	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ8	リース資産(上流)	—	—	—	非該当
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	19,970	14,490	15,372	リンテック(株)
カテゴリ10	販売した製品の加工	106,379	128,089	138,615	リンテック(株)
カテゴリ11	販売した製品の使用	16,902	13,146	14,156	リンテック(株)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	77,308	100,030	124,128	リンテック(株)および連結小会社
カテゴリ13	リース資産(下流)	33	33	33	リンテック(株)
カテゴリ14	フランチャイズ	—	—	—	非該当
カテゴリ15	投資	6,894	6,119	4,053	リンテック(株)
FLAG*排出量	—	637	614	621	
スコープ3合計排出量		1,761,928	1,727,700	1,859,282	

* Forest、Land、Agriculture(森林、土地、農業)の頭文字を取ったもので、これらの分野に関連する排出量。

以下のガイドラインに従い算定しています。引き続き算定精度の向上に努めます。

・ Technical guidance for Calculating Scope3 Emission-Supplement to the Corporate Value Chain (Scope3) Accounting & Reporting Standard (GHG protocol (I WRI/WBCSD))

・ サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース Ver.3.1(環境省・経済産業省)

・ IDEAS Ver3.1、Ver3.4(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)

・ 国立環境研究所 産業連関表による環境負荷原単位データブック(3EID) 2005

・ 環境省 温室効果ガス排出量 算定・公表・報告制度 電気事業者別排出係数一覧

▼ カテゴリごとの算定方法

カテゴリ1	購入原材料(金額または物量)に排出原単位(一次または二次)を乗じて算出
カテゴリ2	設備投資額に排出原単位を乗じて算出
カテゴリ3	購入した燃料、電力、蒸気などの生産に伴う年間購入量に燃料別の排出原単位を乗じて算出
カテゴリ4	原材料の購入重量。または輸送費に排出原単位を掛けて算出
カテゴリ5	生産事業所から排出された廃棄物の種類別排出量に排出原単位を掛けて算出
カテゴリ6	従業員の人数に排出原単位を掛けて算出
カテゴリ7	地域別従業員人数と出勤日数に排出原単位を掛けて算出
カテゴリ8	該当するリース資産はありません
カテゴリ9	輸送手段別の製品出荷重量に、輸送距離、輸送回数、排出原単位を掛けて算出
カテゴリ10	製品(中間材)の販売金額に排出原単位を掛けて算出
カテゴリ11	販売製品の台数に、消費電力量、稼働時間を掛けて算出
カテゴリ12	素材別購入数量から廃棄分を差し引き、種類ごとに排出原単位を掛けて算出
カテゴリ13	用途別の土地面積に排出原単位を掛けて算出
カテゴリ14	該当する事業はありません
カテゴリ15	自社の保有株数に各社原単位(スコープ1+2/発行株数)を掛けて算出

各種取り組み

■ 省エネルギー法への対応

国内リンテックグループでは、「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(略称:省エネルギー法)」に基づき、特定事業者の指定を受け、エネルギー原単位を年1%以上、電気需要平準化原単位を1%以上改善することが求められています。省エネルギー法に対応するため、省エネルギー推進委員の管理下で各事業所のエネルギー使用データを毎月集計し、省エネルギー活動を推進しています。また、各工場に原単位1%改善目標を達成するための施策・案を提出してもらい、進捗・実施結果をまとめています。そのほか、効果のある案件の横展開を実施しています。

■ 太陽光発電システム導入実績(2020年以降)

導入年度	拠点名	削減計画量(t-CO ₂ /年)
2024	土居加工工場	771
2024	東京リンテック加工(株)	33
2023	湘南リンテック加工(株)	117
2022	小松島工場	180
2022	土居加工工場	462
2022	三島工場	457
2022	龍野工場	248
2022	熊谷工場	473
2021	東京リンテック加工(株)	196
2021	千葉工場	133
2020	伊奈テクノロジーセンター	110
2020	熊谷工場	458

■ コージェネレーションシステムの導入実績(2020年以降)

導入年度	拠点名
2024	熊谷工場
2023	土居加工工場

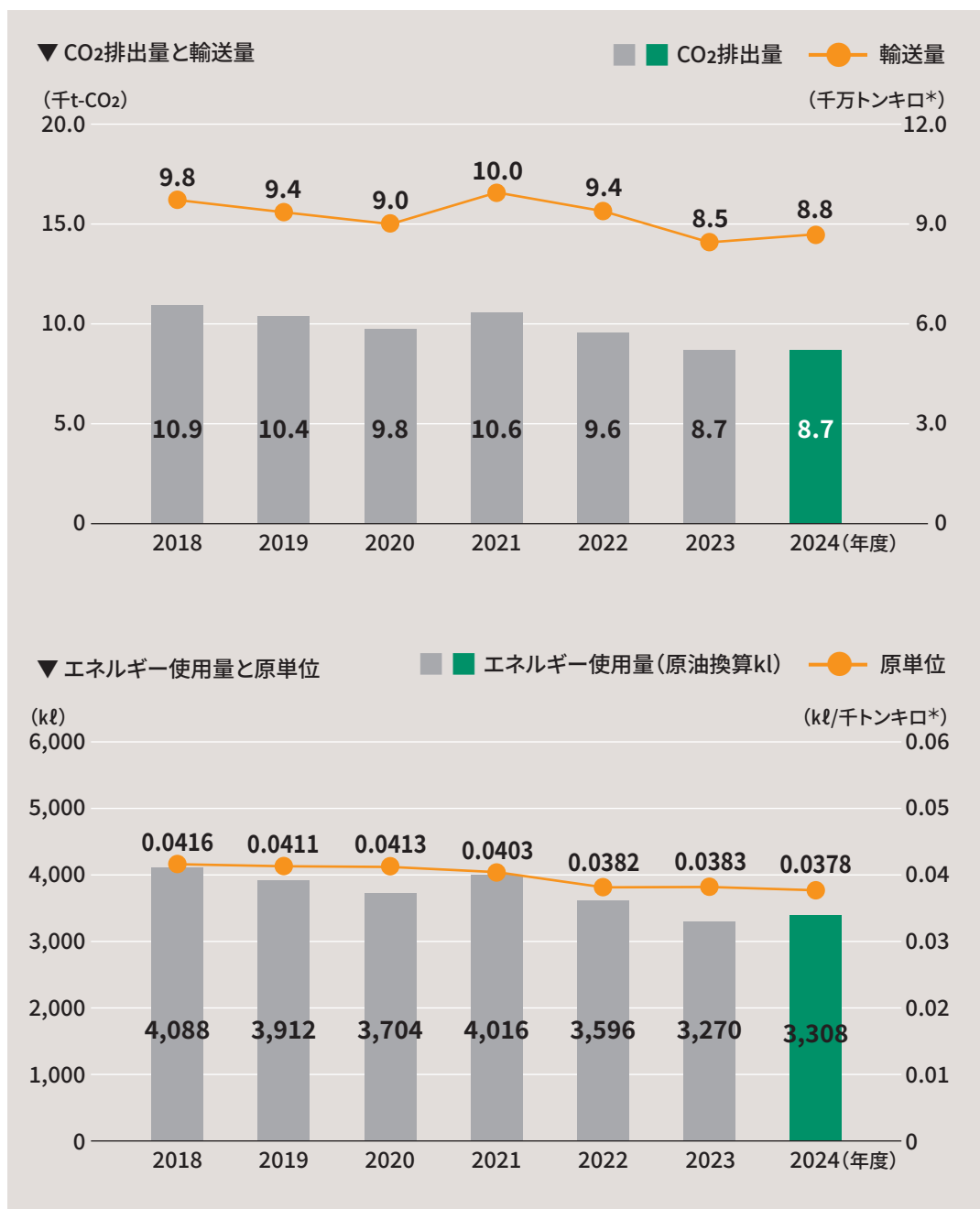
■ フロン漏洩に向けた取り組み

各工場事業所および営業拠点にはパッケージエアコンやチラーなどのフロン冷媒を使用した空調機や冷凍機が設置されており、フロン排出抑制法に則った機器リストを作成し、定められた点検を実施して機器使用時のフロン漏えい防止を図っています。

また機器廃棄時には適正な業者に引き渡し、フロン冷媒が確実に回収されるようにしています。今後とも法令を遵守し、適切な使用、管理を行っていきます。

物流における取り組み

物流において輸送効率の最適化やモーダルシフトに取り組み、CO₂排出の抑制・削減を進めています。



* トンキロ：貨物の輸送量を表す単位で、1回ごとの貨物のトン数とその輸送距離を掛け合わせたもの。1tの貨物を1km輸送した輸送量が1トンキロ。

TCFDに基づく情報開示

リンテックグループでは気候変動が自社の事業活動にさまざまな影響を及ぼすことを認識し、これを重要な経営課題の一つとして捉えています。リスク管理体制や各リスクへの対応を強化するとともに、新たな事業機会を見いだしていくことなどによって、持続的成長とサステナブル社会実現への貢献を目指していきます。気候変動への対応に関する情報開示については、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に沿って積極的に行い、ステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを通じて、さらなる企業価値向上に努めていきます。

ガバナンス

気候変動関連課題への対応を含むサステナビリティに関する具体的な取り組み施策については、「サステナビリティ委員会」(原則年4回開催)において、対応方針や実行計画についての議論と進捗状況の監督を行っています。同委員会は社長が委員長を務め、全取締役および下部委員会の推進担当役員が参加しており、討議結果は取締役会において報告される体制としています。

気候変動関連課題は「TCFD分科会」を通じて「環境委員会」で一次評価を実施し、「サステナビリティ委員会」において最終的な評価を行います。課題への対応策は各拠点で実行・管理され、対応状況は「環境委員会」にて取りまとめ、「サステナビリティ委員会」において全取締役および推進担当役員に報告されています。

参照先 [> コーポレートガバナンス体制図](#) ※ 株主・投資家情報ページ内に移動します。

[> サステナビリティ推進体制詳細および活動内容](#)

戦 略

リンテックグループでは、気候変動に伴うさまざまなリスク・機会を事業戦略策定上の重要事項の一つとして捉えており、以下の二つのシナリオを設定して、2030年(中期)および2050年(長期)までの国内事業および海外事業を対象としたシナリオ分析を実施しています。2024年度は北米地域の物理リスクの検討およびリスク・機会の更新検討を行いました。その結果、昨年度から追加事項はありませんでした。

		+4℃シナリオ	+2℃または1.5℃以下シナリオ
参照 シナリオ	移行 リスク	国際エネルギー機関(IEA)による移行シナリオ	
		「公表政策シナリオ(STEPS)」*1	「持続可能な開発シナリオ(SDS)」 「Net Zero Emissions by 2050 (NZE)」*1
	物理的 リスク	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による気候変動予測シナリオ	
		「RCP8.5」*2	「RCP2.6」*2
		経済産業省「トランジション・ファイナンス」に関する技術ロードマップ	
当社が想定する社会像		【政策は現状のまま進み、気候変動が進行する社会】 ● 気候変動対策は現在の延長線にとどまる ● 気温上昇により、降水パターンが変化。突発的な異常気象の発生が増加し、被害の規模が現在よりも拡大する ● 炭素税は導入されていない	【脱炭素社会実現に向け、積極策を取る社会】 ● カーボンプライシング導入、再生可能エネルギー推進、ZEB・ZEH*3推進など脱炭素に向けた積極策が取られる ● 再生可能エネルギー・省エネルギー技術や脱炭素に向けた新技術の開発が積極的に行われる ● 脱石化原料への転換により、原材料調達環境も変化する ● 脱プラスチック、3Rがより推進され、サーキュラーエコノミーが社会で前提となっている ● 気温上昇による水害や干ばつは増加するが、+4℃の世界よりも被害は小さい ● 消費者意識の変化により、環境配慮製品の需要が高まる

*1 出典：IEA「World Energy Outlook 2021」・「World Energy Outlook 2022」

*2 出展：IPCC「第5次評価報告書」

*3 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)は、高断熱化・高気密化・高効率化・太陽光発電設備の導入などにより年間のエネルギー消費量を実質的にゼロ以下にする建築物、住宅のこと。

対象範囲

本シナリオ分析の対象は、国内事業および海外事業としています。

時間軸

リンテックグループの長期ビジョンおよびSDGsの最終年度である2030年までを「中期」、当社グループがカーボンニュートラル達成の目標としている2050年までを「長期」と設定しています。また、将来的な財務影響の時間軸については、2030年時点を分析対象の中心としています。

■ +2℃以下の世界

移行リスク

分 類	主なリスク		時間軸	対 応 策
政策・法規制	カーボンプライシング	温室効果ガス排出やエネルギー使用に関する法規制強化(炭素税導入など)に伴う対応コストや製造コストの増加および価格転嫁した場合の価格競争力低下	中期～長期	燃料転換、高効率機器の導入、再生可能エネルギーの利用などにより、トータルコストを維持・削減しつつ、CO₂排出量を削減
	CO ₂ 排出規制の強化	省エネ・CO ₂ 排出量削減に向けた設備投資の増加による投資未回収の発生	中期～長期	中長期的なCO₂排出シミュレーションに基づく、計画的な設備投資の実施
		温室効果ガス排出に関する情報開示レベルの高度化・義務化による対応負担増	中期～長期	温室効果ガス排出量の第三者検証の追加(海外)検討、第三者機関による業務支援、自社算定方法(スコープ3など)の検討
	VOC排出規制の強化	溶剤製品の売上減少や仕様変更	中期～長期	さらなる無溶剤製品の開発強化および拡販
技 術	新技術開発	気候変動対応製品の開発遅延や従来製品が環境対応ニーズを満たせなかった場合のビジネス機会逸失	中期～長期	気候変動対応への市場ニーズを調査し、循環型社会に向けた取り組みに優先順位をつけ開発を推進
		新技術の研究開発、知的財産権の確保、共同開発などの遅れによる競争力低下	中期～長期	気候変動に関する新規技術の開発、知的財産権の確保、共同開発の検討などの推進
市 場	エネルギーコストの変化	原油・石油由来エネルギーの価格上昇による製造コスト・光熱費の増加	中期	省エネルギー活動の強化、再生可能エネルギー設備の活用促進
	重要製品の変化	顧客ニーズの環境配慮製品への移行による主要製品の受注減少	中期～長期	顧客ニーズに対応した環境配慮製品の開発・拡充および拡販
	原材料調達の変化	脱石化原料の加速に伴うサプライヤーへの依存度の上昇による製品供給の不安定化	中期～長期	サプライヤーチェーンマネジメントの高度化によるサプライヤーの多元化
		サプライヤーのCO ₂ 対策などによる原材料コスト増	中期～長期	サプライヤーチェーンマネジメントの高度化によるサプライヤーの多元化
評 判	顧客評判の変化	気候変動への取り組み体制の整備や対応製品の展開・強化の遅れによる顧客評価の低下と売上減少	中期～長期	- ステークホルダーエンゲージメントの積極化 - 環境配慮製品の開発・拡充および拡販
		顧客からの開示要求への対応の遅れにより顧客評価の低下につながり、取引停止・取引機会の逸失が発生し、売上減	短期～中期	リンテックグループ全体でのグローバルで効率的な情報収集体制・回答体制の強化

機会

分 類	主な機会	時間軸	対 応 策
資源の効率	水の循環利用による給排水コスト削減	中期～長期	● 水冷設備の循環水方式への移行を検討
	インターナルカーボンプライシングの導入などによる効果的な新規設備投資	中期	● インターナルカーボンプライシングおよびコストを可視化するための社内投資判断基準の導入
エネルギー源	エネルギー調達面におけるコスト削減の推進	中期～長期	● 再生可能エネルギーの使用促進、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備導入 ● コージェネレーションシステム、排熱ボイラー、自家消費型太陽光発電設備などの導入
	排出枠内にCO ₂ 排出量を収めることによる排出権取引の収益化	中期～長期	● CO ₂ 排出量の削減強化
	脱炭素に向けた代替エネルギーの導入	長期	● 代替エネルギーとしての水素などの導入検討
	サプライヤーの技術革新により、カーボンニュートラルの実現に寄与するエネルギー源や原料を用いて製造した原材料の調達機会の増加	中期～長期	● サプライヤーとの連携・協働により、カーボンニュートラルの実現に寄与する原材料調達の推進
製品・サービス	さらなるデジタル化・EVの普及などに伴うエレクトロニクス関連製品の需要増加	中期～長期	● 積極的な設備投資によるエレクトロニクス関連事業の生産体制の拡充
	循環型社会の実現に資する製品や取り組みへのニーズ拡大	中期～長期	● 環境配慮製品の開発・拡充(脱プラ、バイオマス、生分解性、森林認証紙など) ● サプライチェーン、外部団体などとの共同による資源循環型製品の開発や資源回収システムの構築を推進
	再生可能エネルギーの普及・拡大に伴うビジネス機会の増加	中期～長期	● 再生可能エネルギーの創出に貢献する製品の開発・拡充
	省エネルギー製品の販売機会の増加	中期～長期	● 省エネルギー促進に貢献する製品(高機能ウインドーフィルム、採光フィルムなど)の開発・拡充
	無溶剤製品の販売機会の拡大	中期～長期	● 顧客ニーズに応じた無溶剤製品のさらなる開発・拡充
	従業員の環境意識向上による新たなビジネス機会の獲得	中期～長期	● 組織横断の委員会活動や研修などを通じて従業員の環境意識を図ることで、優位性のある製品を市場に提供し、さらなるビジネス機会を獲得
市 場	脱炭素社会、循環型社会に向けた取り組みの充実によるステークホルダーからの支持獲得	中期～長期	● 自社における取り組みの強化およびサプライチェーンや業界全体と連携した取り組みの推進 ● 国内外へ環境配慮製品を積極的に周知し、より広範囲なステークホルダーからの理解・支持を獲得
レジリエンス	サプライヤー見直しによるサプライチェーンの安定化	中期～長期	● サプライチェーンマネジメントの高度化

■ +4°Cの世界

物理的リスク

分 類	主なリスク		時間軸	対 応 策
急 性	自然災害の 激甚化	豪雨などでのサプライチェーンの寸断や工場の操業停止による製品供給遅延と売り上げの減少、および物流遅延や商品破損による物流費と営業外費用の上昇	中期～長期	● 海外拠点を含めたBCP対応とBCM構築 ● 自然災害への対応力を想定した在庫管理と物流管理体制の構築 ● 災害対応マニュアルの整備 ● 自然災害を想定した保険加入 ● 水害を想定した建物設計
		修繕費や災害・損害保険費などの増加	中期～長期	● 各拠点における定期的なリスク洗い出しの実施 ● マネジメントレビューによる指示について関連事項に注視し、設備の更新仕様に反映
慢 性	気温の上昇	夏場の空調エネルギーコストの増加	中期～長期	● 各事業所において、窓ガラスの複層化や遮熱フィルムの貼付などによる断熱性能の改善を検討
	用水確保の不安定化	地下水の減少による工業用水不足	中期～長期	● 水冷設備の循環水方式への移行を検討

■ 気候変動に伴うリスク・機会の財務的影響

移行リスクによる財務的影響

● カーボンプライシングによる費用の増加

CO₂排出量について2030年までに2013年度比で75%以上の削減、2050年に実質ゼロを目指しています。炭素税が導入された場合、2030年に目標を達成した際の炭素税負担は約20億円と推定しています。これは、削減に取り組まない場合と比較し、約11億円の負担減となります。

● CO₂排出量削減に向けた設備投資

自家消費型太陽光発電設備やガスタービンコージェネレーションシステムの導入など、長期ビジョン「LSV 2030」の期間中に国内のCO₂削減投資として累計約147億円の投資を計画しています。

● 原材料調達環境の変化

当社製品の一部は、化石燃料やパルプ由来の原材料を使用しています。そのため、原材料調達環境の変化による当社事業への長期的リスクは大きいと認識しています。引き続き影響度の分析に取り組むとともに、原材料の転換や新技術を含めた対応策を検討していきます。

物理的リスクによる財務的影響

● 豪雨・水害

原材料の複数購買と各拠点における適正在庫の維持、BCPによるバックアップ体制の構築を図ることで、影響の最小化と製品の安定供給に努めていきます。

● 干ばつ

各拠点における工業用水系統の複数化と工業用水使用量の削減に継続して取り組むことで、影響の最小化に努めていきます。

機会による財務的影響

● 各種環境配慮製品需要の増加

企業の温暖化対策推進、また環境に配慮した持続可能な暮らしへの消費者意識の変化により、当社環境配慮製品の需要増加が見込まれます。影響額は算定中です。

● 省エネルギー対応製品需要の増加

省エネルギーや防災などへのニーズの高まりや、新興国のさらなる工業化・都市化の進展により、当社省エネルギー対応製品の需要増加が見込まれます。影響額は算定中です。

シナリオの分析の結果

シナリオ分析の結果、2030年および2050年時点において、今回想定したいずれのシナリオにおいても、原材料コスト増による影響や、長期ビジョン「LSV 2030」の取り組みに関連した省エネルギー対応製品や各種環境配慮製品の需要拡大など、当社事業への一定の影響を確認しました。この結果を受け、リスク対応および機会獲得のための積極的な取り組みが必要であることを再確認しました。グループ全社一丸となって対応を進めるとともに、CO₂排出量を2030年までに2013年度比で75%以上削減、2050年には実質ゼロを目指して、積極的な取り組みを続けていきます。

リンテックグループの取り組み

> (1) 経営計画 ※ 株主・投資家情報ページ内に移動します。

> (2) 統合報告書

リスク管理

リンテックグループではリスク管理体制強化のため、各本部長と社長直轄組織である各室の室長で構成される「全社リスク管理委員会」を2018年4月に設置し、定期的に委員会を開催しています。

2021年4月にサステナビリティ活動の推進体制が刷新・強化され、同委員会の目的を「事業におけるリスクと機会の把握、対応方針策定、職制への落とし込みおよび検証」として、改めて明確にしました。同委員会では、主に各委員の課題認識と管理職などを対象に毎年実施しているリスク洗い出しの結果に基づいて、自然災害を含む各リスクの評価・分析を行っています。その結果は四半期ごとにサステナビリティ委員会で報告され、対応などについての指示を受けています。

また、気候関連リスクに係る情報は「環境委員会」が収集して識別・評価を行い、その結果を「サステナビリティ委員会」に報告しています。同委員会では対応の必要性を検討後、適宜、下部委員会を通じて推進担当役員に業務指示を行っており、指示を受けた推進担当役員はそれぞれの所管部署を通じて対応策を実行します。「環境委員会」はその後の状況の変化を継続的に確認し、当初掲げた指標・目標が達成できているかどうか定期的に把握しています。

今後も各委員会が連携してリスク管理能力の強化に努めるとともに、リスク管理体制の継続的な改善を図ることで、リンテックグループの持続的成長につなげていきます。

関連情報

> リスクマネジメント(ガバナンス報告)

> 環境マネジメント(環境報告)

指標と目標

リンテックグループは、気候変動への対応として温室効果ガス(GHG)排出量の削減が重要であると認識し、研究開発・製造・販売・物流面などにおいてさまざまな施策を推進しています。脱炭素に向けたこれらの取り組みはメーカーとしての使命であると同時に、気候関連の新たな機会獲得につながると考えています。リンテックグループでは2030年を見据えた長期ビジョン「LSV 2030」において、以下の数値目標を設定しています。

目標と実績 > リンテックグループのCO₂排出量ロードマップ(環境データブック)

その他の目標・指標掲載箇所 > (1)環境報告

> (2)経営方針 ※ 株主・投資家情報ページ内に移動します。

> (3)スコープ3(環境データブック)

廃棄物の削減

廃棄物の有効利用状況

単位:千t

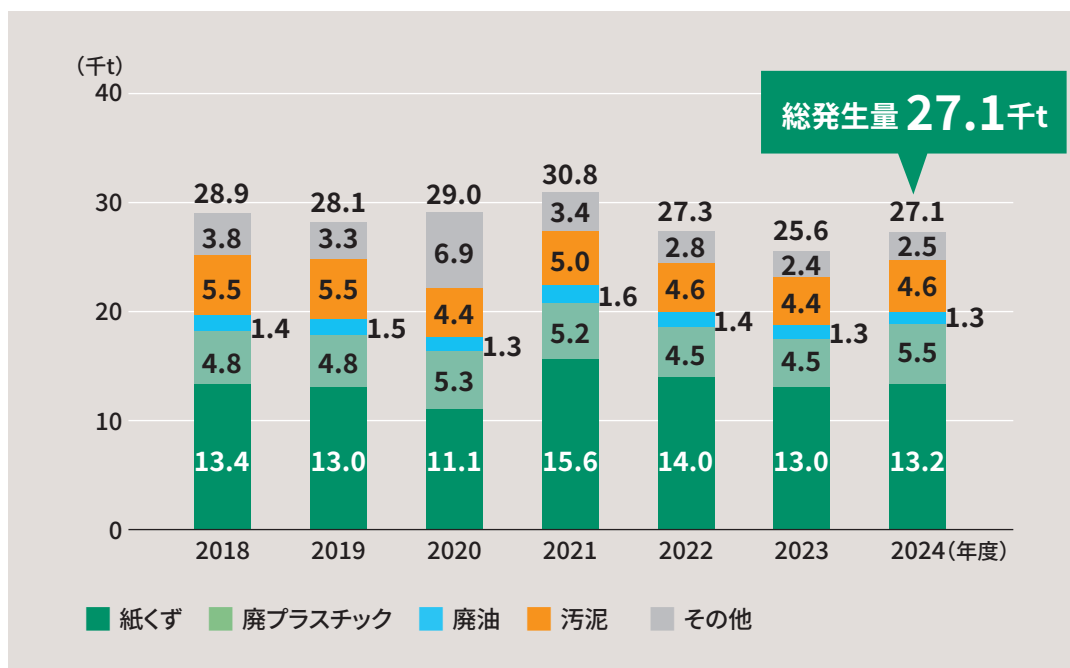
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
廃棄物発生量	29.0	30.8	27.3	25.6	27.1★
社内有効利用量*1	8.9	9.9	8.4	7.3	6.8
有価物販売量*2	7.5	5.6	7.2	7.9	9.3
社外処理量	12.1	15.6	11.8	10.4	11.0
社外有効利用量*3	8.8	11.9	7.6	6.6	8.2
焼却量	3.1	3.5	4.1	3.7	2.8
減容、熱利用量	2.9	3.3	4.0	3.6	2.8
最終埋立量	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
再資源化量 (*1*2*3合計)	25.2	27.4	23.1	21.8	24.3

対象範囲：リンテック(株)の本社、工場、研究所、東京リンテック加工(株)

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

廃棄物発生量



対象範囲：リンテック(株)の本社、工場、研究所、東京リンテック加工(株)

> 焼却流動層ボイラ維持管理状況(熊谷工場焼却施設)

3Rの取り組み

リデュースの取り組み(ゴミの量を減らす)

リンテックグループは、社内イントラネットを利用した電子承認制度などにより、事務書類のペーパーレス化に取り組んでいます。各工場においては、不良品の削減を目的に研究所と一緒に製造技術および歩留まりの向上に努めています。また、調業釜の小型化や通紙に用いる原材料の狭幅化、連続して生産する生産計画により、使用原材料の削減に取り組んでいます。

リユースの取り組み(繰り返し使う)

リンテックグループの事業所内を行き来しているパレットや粘着仕掛品ロールに使用されている巻き芯は、必要に応じて洗浄し、搬送先や搬送元で再利用しています。顧客や原材料メーカーからのパレットは、搬送元ごとに分別して管理し、再利用のために搬送元に返却して顧客や原材料メーカーをも巻き込んだリユースに取り組んでいます。

リサイクルの取り組み

関東近郊の国内グループで発生する紙くずを熊谷工場に集約し、サーマルリサイクルの原材料として自社内の有効利用を行っています。廃棄物の分別を徹底し、これまで混合物として廃棄物処理されていたものをリサイクルの原材料となる有価物化することで、リサイクルの促進に努めています。

また、環境配慮製品の開発に注力し、脱プラを目的としたストロー用原紙や、ペットボトルをリサイクルした再生PETフィルム、バイオマス粘着剤を使用した粘着製品などを市場に投入しています。

プラスチック資源循環促進法への取り組み

プラスチック資源循環促進法における排出抑制および再資源化等の目標

- 生産工程の見直しなどにより歩留まりの向上に努め、プラスチック廃棄物の排出量を抑制する。
- 購入原材料や社内で流通する仕掛品に使用されるプラスチック製包装材料の簡素化、減量化、再使用を促進することで社内外のプラスチック製包装材料の使用および排出の抑制に貢献する。
- 製品出荷時に使用しているプラスチック製の巻き芯を回収して、再使用することによりプラスチック製巻き芯の使用および排出の抑制に努める。

リンテックのプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量と再資源化率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
排出量(t)	3,635	3,754	3,423	3,413	4,079
再資源化率(%) ^{*1}	4.4	6.2	10.9	4.6	4.9
熱回収率(%) ^{*2}	93.3	91.5	86.7	93.3	93.4

対象範囲：本社、吾妻工場、熊谷工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、三島工場(土居工場)、小松島工場、札幌支店、仙台支店、北陸支店、文京春日オフィス、静岡支店、名古屋支店、大阪支店、四国支店、広島支店、福岡支店、熊本事務所、東京リンテック加工(株)

^{*1} 再資源化率(%) = 再資源化量 / 排出量 × 100

^{*2} 熱回収率(%) = 熱回収量 / 排出量 × 100

国内グループ会社のプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量

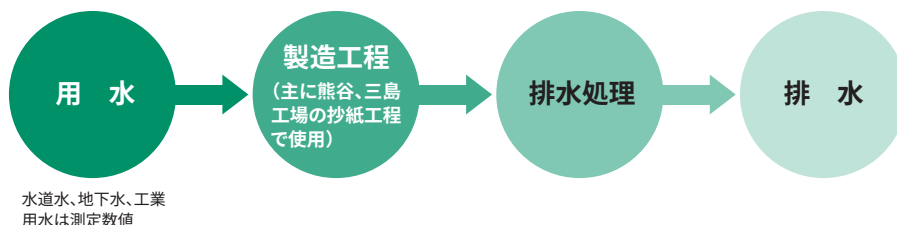
単位:t

	2022年度	2023年度	2024年度
リンテックコマース(株)	9.6	7.1	10.8
リンテックサインシステム(株)	22.4	49.7	31.9
湘南リンテック加工(株)	125.0	84.6	106.6
リンテックサービス(株)	0	0	0
リンテックカスタマーサービス(株)	0.3*	1.5	1.3
東京リンテック加工(株)	100.9	102.0	88.2

* 集計期間：2022年12月～2023年3月

用水の使用と排水

■ 用水使用から排水までの流れ



■ 用水使用量と排水量

単位:千m³

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
用水合計	7,951	7,718	7,798	7,831	7,732★
・水道水	531	509	540	515	448
・工業用水	3,660	3,715	3,383	3,680	3,701
・地下水	3,760	3,494	3,876	3,636	3,583
排水	6,163	6,630	6,191	5,909	4,832

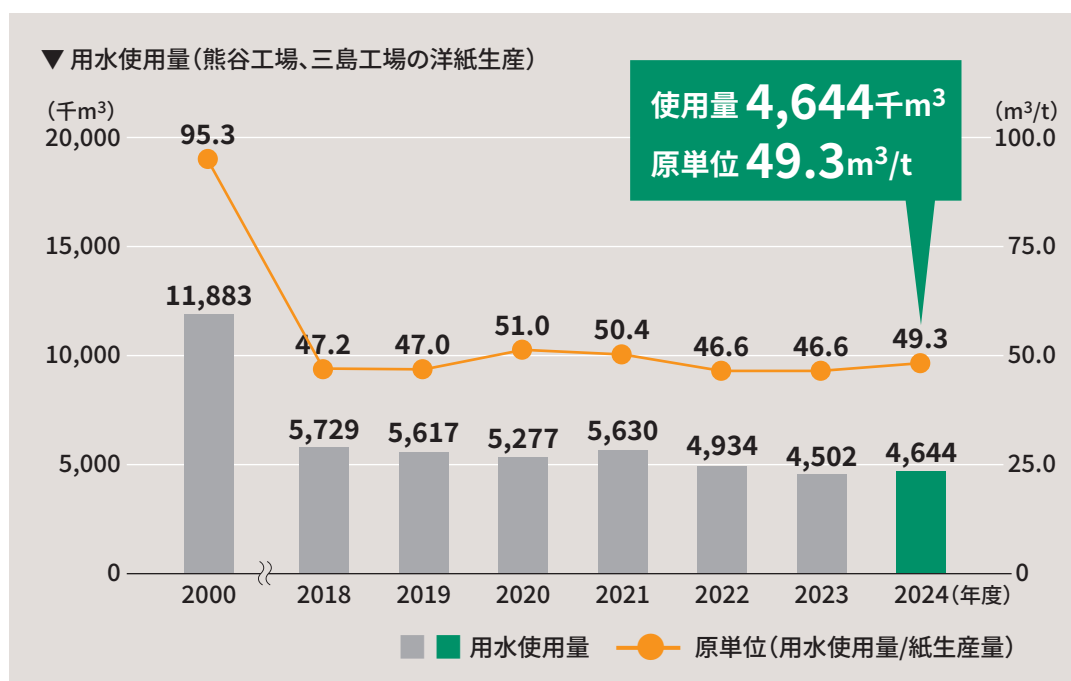
対象範囲：リンテック(株)の本社、工場、東京リンテック加工(株)

※ 用水は、水道水、工業用水、地下水の合計です。

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

>★マークについてはこちら

■ 熊谷工場・三島工場の洋紙生産における用水使用量



排水水質(熊谷工場・三島工場)

熊谷工場

項 目	排水基準		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
			最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値
pH	5.8～8.6		7.6	7.1	7.8	7.2	7.5	7.1	7.9	7.1	8.0	7.1
濃度規制	SS*1	60(50)以下	33.9	(22.3)	45.6	(12.5)	42.9	(11.7)	32.7	(13.0)	40.5	(11.9)
	BOD*2	25(20)以下	23	(10.5)	20	(8.7)	21	(9.1)	25	(8.7)	20.0	(8.0)
	COD*3	—	55	24.2	45.2	23.2	43.2	22.1	67.3	23.1	49.8	22.2
総量規制	COD(t/日)	0.858以下	0.276	0.14	0.282	0.138	0.265	0.121	0.235	0.122	0.273	0.121
	窒素(t/日)	0.4068以下	0.143	0.395	0.1413	0.3471	0.142	0.0023	0.1169	0.0245	0.1411	0.0245
	リン(t/日)	0.0418以下	0.01	0.0094	0.0126	0.0009	0.0065	0.0007	0.0078	0.0010	0.0138	0.0011

三島工場

項 目	排水基準		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
			最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値
pH	5.8～8.6		6.0～7.6	6.8	6.0～8.0	6.7	6.0～7.7	6.8	6.1～8.0	7.0	6.0～8.0	7.1
濃度規制	SS*1	80(60)以下	29	(4)	28	(4)	44	(4)	45	(4)	52	(4)
	COD*3	90(65)以下	84.5	(24.6)	88.2	(24.3)	89.2	(25)	89.4	(22.9)	85.9	(22.6)
	全窒素(mg/L)	120(60)以下	—	—	77.9	(4.5)	47.1	(5.5)	41.6	(5.1)	45.5	(4.7)
	全リン(mg/L)	16(8)以下	—	—	0.7	(0.04)	0.83	(0.04)	0.9	(0.04)	0.8	(0.04)
総量規制	COD(t/日)	0.9431以下	0.4886	0.2385	0.5158	0.25	0.4945	0.2365	0.4452	0.2065	0.4887	0.2016
	窒素(t/日)	0.3961以下	0.1749	0.0351	0.1926	0.0465	0.199	0.0519	0.165	0.0477	0.1601	0.0426
	リン(t/日)	0.0405以下	0.0014	0.0002	0.0013	0.0004	0.0014	0.0004	0.0024	0.0004	0.0018	0.0004

※濃度規制に関しては括弧内の数値は日間平均値を示す。

*1 SS : Suspended Solid(浮遊物質)

*2 BOD : Biochemical Oxygen Demand(生物化学的酸素要求量)

*3 COD : Chemical Oxygen Demand(化学的酸素要求量)

生物多様性保全のための取り組み

取り組み事例

TNFD*(v0.4)が求める優先地の特定に基づく評価結果より、2023年度より熊谷工場において5つのゾーニング(森づくり・草地づくり・保全型植栽・景観植栽・水域)を設定して取り組みを開始し、現在も継続して取り組んでいます。各工場では以前より植樹活動を行っていますが、その中で、2024年度より三島工場・土居加工工場においても現地調査を行い、熊谷工場のゾーニング活動を参考にして生物多様性活動の立ち上げを行いました。

* TNFD：Taskforce on Nature-related Financial Disclosuresの略称。自然関連財務情報開示タスクフォース。

▶ 取り組み事例①：熊谷工場 生物多様性の取り組み

森づくりゾーン、草地づくりゾーンにおいては、植物の育成だけではなく、小鳥の水飲み場、昆虫などの避暑地としての岩場などを設置し、生物の育成にも考慮しています。



設置した岩場



▶ 取り組み事例②：三島工場・土居加工工場 化学物質に頼らない緑地管理

除草剤や殺虫剤などの化学物質に頼らなくなると草の繁茂や草刈りの負担増加が懸念されます。そこで対策として、草刈り機の導入を検討しました。労力・人件費の低減にも貢献すると考えられています。



草刈り機(使用面積：約14,000m²)

▶ 取り組み事例③：龍野工場・小松島工場 在来種の植樹

地域植栽在来種候補から龍野工場ではナンテン、小松島工場ではムラサキシキブを選定し植樹をしています。



ナンテン



ムラサキシキブ

PRTR法への対応

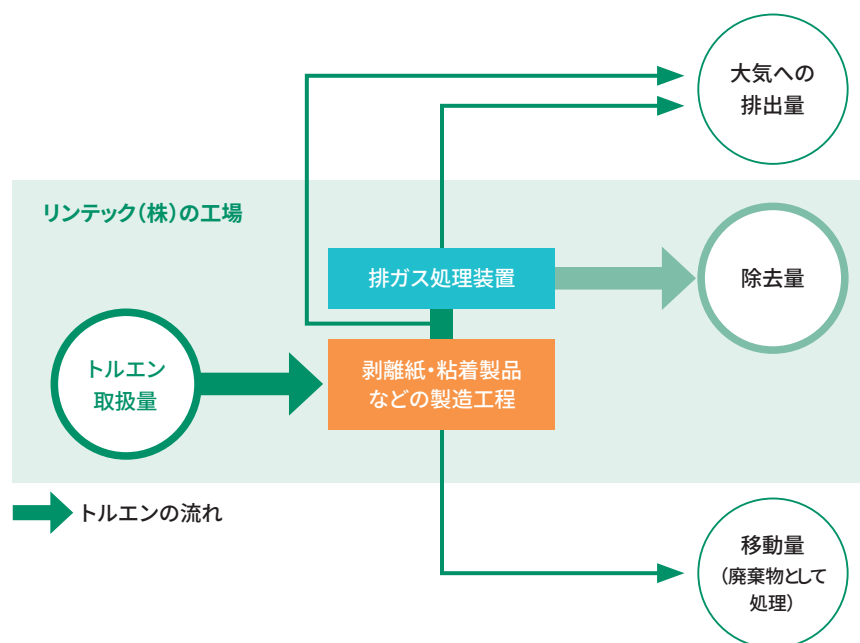
PRTR対象物質排出量

単位:t

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
排出量(トルエン)	459	439	359	346	341

対象範囲：リンテック(株)

トルエンの排出量と移動量



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
トルエン取扱量(t)	6,614	6,800	5,508	5,471	5,347
大気への排出量(t)	453	434	357	340	341
除去量(t)	5,719	5,851	4,695	4,631	4,520
除去率*(%)	93.5	93.1	92.9	93.2	95.3
移動量(t)(廃棄物として処理)	496	516	456	500	486

対象範囲：リンテック(株)

* 除去率＝除去量／(取扱量－移動量)×100

VOC排出量の削減

VOC排出量

国内

単位:t

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
吾妻工場	139.8	153.6	126.2	114.7	125.0
熊谷工場	286.7	288.5	196.2	170.6	207.5
研究所	1.8	2.0	1.7	1.6	1.4
千葉工場	107.5	125.0	118.5	117.3	110.4
龍野工場	39.5	38.2	74.9	54.8	80.3
新宮事業所	49.4	46.7	27.8	33.7	54.3
小松島工場	30.6	35.0	32.4	26.0	26.0
三島工場	152.9	200.6	167.2	149.0	173.1
合 計	825.7	909.5	754.3	667.7	777.9★

※ VOC算定物質：トルエン、酢酸エチル、MEK、IPA、アセトン、n-ヘキサン、キシレン、エチルベンゼン、酢酸ビニル、メタノール、エタノール、の11物質。

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

海外

単位:t

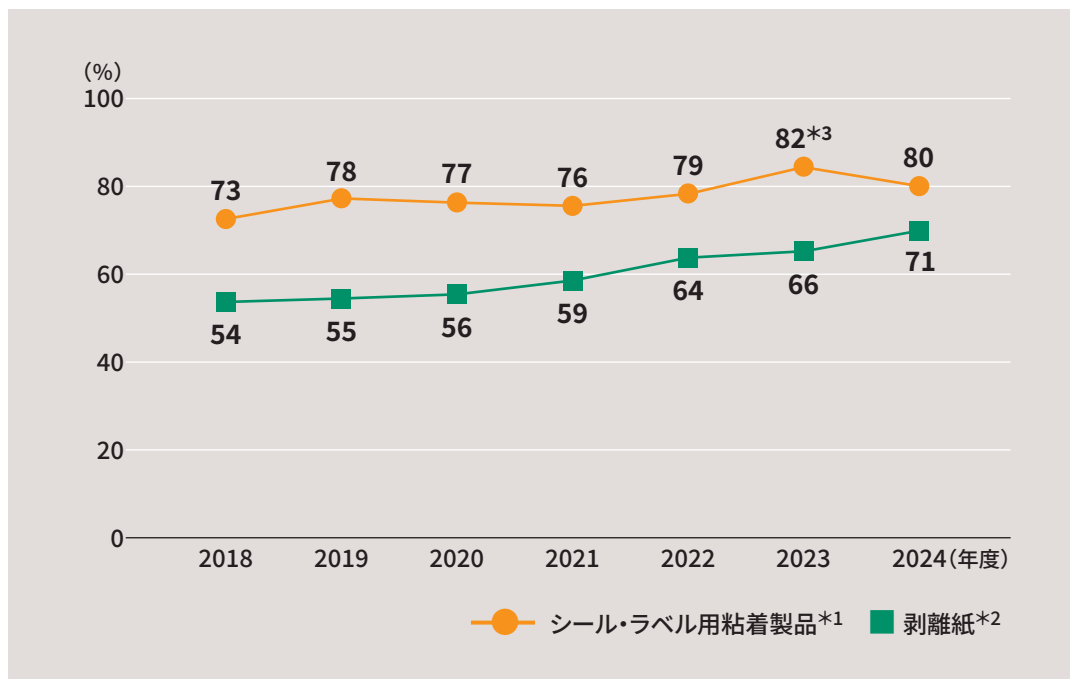
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
リンテック・スペシャリティ・フィルムズ(台湾)社*1	37.9	47.4	25.6	24.5	8.7
リンテック・スペシャリティ・フィルムズ(韓国)社*2	33.8	36.0	22.1	15.2	4.9
リンテック・インドネシア社	195.7	251.7	163.8	187.0	179.1
リンテック・タイランド社	25.0	25.0	23.3	17.7	24.7
琳得科(蘇州)科技有限公司	28.1	25.5	4.3	3.9	4.5
リンテック・コリア社	2.7	3.4	2.9	2.4	5.3
リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社	5.6	5.9	3.4	2.0	2.5
マディコ社	2.3	5.5	4.5	3.7	4.7
その他*3	105.0	135.2	154.2	91.9	8.8
合 計	436.1	535.6	404.1	348.3	243.2

*1 2024年9月まで操業後、閉鎖

*2 2024年6月まで操業後、閉鎖

*3 普林特科(天津)標簽有限公司、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社、マックタック社

■ シール・ラベル用粘着製品と剥離紙の無溶剤化率



*1 シール・ラベル用粘着製品は国内販売量

*2 剥離紙は、熊谷工場と三島工場で生産する剥離紙全て（一部特殊品を除く）

*3 再集計の結果、数値を修正

参照先 [> 無溶剤型剥離紙特集サイト](#)

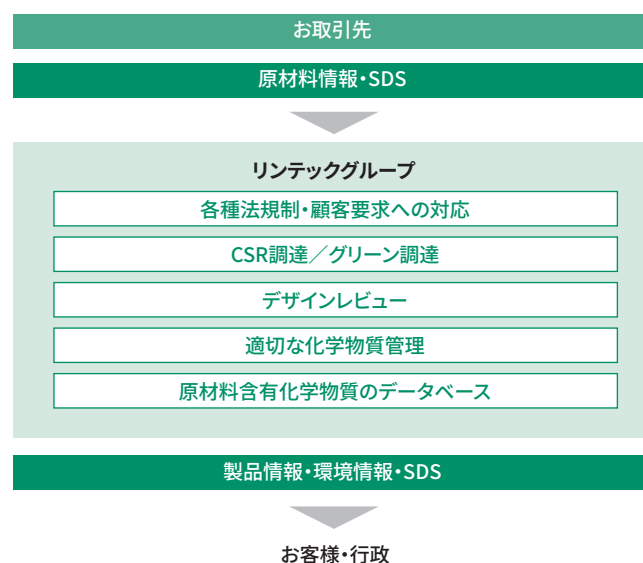
化学物質管理、EUにおける各種環境規則への対応

REACH規則 SVHC(高懸念物質)認可対象候補物質

合 計

247物質(32次、2025年1月21日現在)

製品情報提出の流れ



環境保全コスト

分 類		対象となる設備	投資額*1 (百万円)	主な取り組みの内容	費用額*2 (百万円)
1. 生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	公害防止				
	a. 大気汚染削減装置など大気汚染防止のためのコスト	排ガス処理装置	73	大気汚染防止設備維持管理	353
	b. 排水処理設備など水質汚濁防止のためのコスト	排水処理設備	2	水質汚濁防止設備維持管理	159
	c. その他公害防止のためのコスト	—	0	スラッジ処理費	59
	地球環境保全				
	a. 温暖化防止のためのコスト	—	0	燃料転換設備維持管理	158
	b. 省エネルギー・省資源のためのコスト	排熱回収設備	418	自家発電設備維持管理	827
	資源循環				
	a. 古紙設備など資源の効率的利用のためのコスト	—	0	古紙処理設備維持管理、古紙原料化	343
	b. 産業廃棄物の減量化・削減・リサイクル・処理のためのコスト	燃料化設備	0	焼却炉ボイラー設備維持管理、産業廃棄物処理	455
2. 上・下流コスト	副資材の回収・再生・再利用のためのコスト	—	0	副資材の返却費用	81
	グリーン調達、環境負荷の少ない原材料等の購入	—	0	環境配慮型事務用品の購入	8
3. 管理活動における環境保全コスト	環境管理システムの構築、運用のためのコスト	—	0	環境保全組織の運営	430
	環境情報開示	—	1	サステナビリティレポート・サイト制作	47
	大気、水質の分析費用など環境負荷の監視・測定のためのコスト	—	0	規制物質の分析・測定	51
	従業員への環境教育のためのコスト	—	0	セミナー、講習会参加	1
	事業活動に伴う自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策のためのコスト	緑化工事	2	構内美化、緑地維持管理	32
4. 研究開発活動における環境保全コスト		—	0	環境保全に関する研究開発	2,609
5. 社会活動コスト		—	0	生物多様性プロジェクト活動発表会	1
6. 土壌汚染の修復など環境損傷に対応するコスト		—	0	汚染負荷量賦課金、漁業補償金	14
合 計			496		5,628

対象範囲：リンテック(株)および東京リンテック加工(株)

※参考ガイドライン：環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

*1 対象期間における環境保全を目的とした支出額で、環境保全効果が数期にわたり持続し、その期間に費用化されていくもの。

*2 環境保全を目的とした財・サービスの費消により発生する費用または損失。

目次

お客様のために	CS(お客様満足)向上のために 品質保証
お取引先との協働	CSR調達
従業員とともに(人権・雇用)	人権と多様性(ダイバーシティ)の尊重 ワークライフバランス
従業員とともに(人材育成)	人材育成
従業員とともに(安全防災)	労働安全
地域社会とともに	リンテックグループのCSR活動

CS(お客様満足)向上のために

- ワンストップ開発の促進

- 活動実績

- 製品の情報開示

- 製品情報

ワンストップ開発の促進

活動実績

マテリアルズ・インフォマティクス*(MI)を用いた製品開発の加速

リンテックでは、新製品の迅速な上市に向け、MIの技術を活用した製品開発を行っています。この技術をさらに多くの製品開発に拡大させる取り組みとして、新入社員教育において機械学習の講習を実施しています。また、管理職・チームリーダークラスに対しては、科学的考察をより深化させるために必要な手法の講習会を開催するなど、各種教育を当初計画より前倒しで実施しています。

* 先行研究や経験に頼るのではなく、情報科学の技術を用いることによって目標性能を満たす材料を効率的に探索する方法。

製品の情報開示

参照先

[> 製品情報](#)

※ 製品情報ページ内に移動します。

品質保証

● 品質事故の予防と教育

― 品質事故件数・比率

品質事故の予防と教育

■ 品質事故件数・比率(2010年度の件数を100%とした比率)

2024年度は2010年(基準年)から69%削減

年 度	件数／月	比率(%)
2010(基準年)	49	100
2024	15	31
2023	15	31
2022	15	31
2021	17	35
2020	17	35

対象範囲：リンテック(株)(伊奈テクノロジーセンターを除く)および東京リンテック加工(株)、湘南リンテック加工(株)

CSR調達

● サプライヤーの評価と改善

- － フィードバック実施件数と改善要望数
- － アンケートの調査項目(概要)

● グリーン調達

- － 実施した製品含有化学物質調査
- － リンテックグリーン調達方針
- － リンテック木材パルプ調達方針
- － リンテック原材料調達基本方針

サプライヤーの評価と改善

■ フィードバック実施件数と改善要望数

フィードバック実施件数	改善要望数
48社62事業部*★	5社5事業部★

対象範囲：リンテック(株)への原材料供給元

* 昨年度アンケートを51社66事業所に対して依頼し、3社は未入手、1社が入手完了も製品が廃盤になったため評価未実施。

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

■ アンケートの調査項目(概要)

経営	財務状況
調達	納期、デリバリー、コスト、BCP*、サービス、海外対応
品質	品質システム、工程管理
環境	認証取得状況、化学物質管理
CSR	法対応、企業倫理、人権尊重、情報セキュリティ

* Business Continuity Plan(事業継続計画)の略称。企業が事故や災害などの緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために事前に策定された行動計画。

グリーン調達

■ 実施した製品含有化学物質調査

	調査名
2024年度に実施した調査	chemSHERPA Ver 2.10.00

■ リンテックグリーン調達方針

■ リンテック木材パルプ調達方針

■ リンテック原材料調達基本方針

参照先 [> 会社方針一覧](#)

人権と多様性(ダイバーシティ)の尊重

- 女性従業員の活躍推進
 - ― 男性育児休業取得者
- 障がい者雇用
 - ― 障がい者雇用人数と雇用率
- ジョブリターン制度・キャリアリターン制度
 - ― 制度の利用状況(累計人数)
- 高齢者雇用
 - ― 高齢者雇用者数
- 社会貢献休業制度
 - ― 制度の利用状況
- 労使関係
 - ― リンテックフォーレストの状況
- その他関連データ
 - ― リンテックグループ従業員数と男女比率
 - ― 地域男女別従業員数
 - ― 海外拠点における現地従業員
 - ― 新卒3年以内の離職率
 - ― 平均勤続年数
 - ― 新規雇用者および退職者数
 - ― 就業規則などの改定実績

女性従業員の活躍推進

男性育児休業取得者

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
取得者数(人)	3	7	37	59	48★
取得権利者数(人)	66	79	62	68	58★
取得率(%)	4.5	8.9	59.7	86.8	82.8★

対象範囲：リンテック(株)

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

障がい者雇用

障がい者雇用人数と雇用率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
雇用人数(人)	52	53	61	60	67.5
雇用率(%)	1.94	1.99	2.28	2.24	2.53★
法定雇用率(%)	2.2	2.3	2.3	2.3	2.5

対象範囲：リンテック(株)

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

ジョブリターン制度・キャリアリターン制度

制度の利用状況(累計人数)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ジョブリターン制度	19	19	21	23	20
キャリアリターン制度	—	—	—	0	0

対象範囲：リンテック(株)

高齢者雇用

高齢者雇用者数

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
65歳	規定年齢到達者数(人)	—	15	23	26	28
	再雇用者数(人)	—	6	11	13	6
	再雇用割合(%)*	—	40	48	50	21

対象範囲：リンテック(株)

※ 参考：再雇用先は原則グループ会社になりますが到達者などの対象者がリンテック(株)の所属者となります。

*再雇用割合＝規定年齢到達者数÷再雇用者数

社会貢献休業制度

■ 制度の利用状況

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
社会貢献休業*1(人)	—	—	0	0	0
社会貢献休暇*2(人)	12	15	15	20	15

対象範囲：リンテック(株)

*1 会社が認めた期間(最長1年間)にわたる災害復旧・海外支援への協力など、社会貢献を目的とする活動に参加するための休業制度。

*2 会社が認めた地域社会への協力、ボランティア活動など、社会貢献を目的とする活動に参加するための休暇制度。

労使関係

■ リンテックフォレストの状況

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
会員数(人)	2,097	2,094	2,086	2,072	2,067
平均年齢(歳)	38.7	38.9	39.0	39.4	39.9
平均勤続年数	16年8か月	16年9か月	16年9か月	17年3か月	17年9か月

※ 各年度末現在。

その他関連データ

■ リンテックグループ従業員数と男女比率

(海外：2024年12月31日現在、国内：2025年3月31日現在)

		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
		従業員数 (人)	男女比率 (%)	従業員数 (人)	男女比率 (%)	従業員数 (人)	男女比率 (%)	従業員数 (人)	男女比率 (%)	従業員数 (人)	男女比率 (%)
リンテック (株)	全体	2,618	—	2,628	—	2,620	—	2,618	—	2,629	—
	男性	2,248	86	2,253	86	2,244	86	2,237	85	2,231	85
	女性	370	14	375	14	376	14	381	15	398	15
	男性管理職	495	98	486	98	496	97	499	97	505	96
	女性管理職	9	2	10	2	13	3	17	3	19	4
	男性管理・監督職(係長・主査)	796	95	784	95	779	94	777	93	767	92★
	女性管理・監督職(係長・主査)	42	5	44	5	51	6	56	7	64	8★
リンテック グループ	全体	6,199	—	6,221	—	6,548	—	6,527	—	6,402	—
	男性	4,801	77	4,829	78	5,114	78	5,126	79	4,990	78
	女性	1,398	23	1,392	22	1,434	22	1,401	21	1,412	22
	男性管理・監督職(係長・主査)	844	86	833	85	899	85	1,187	84	1,105	84
	女性管理・監督職(係長・主査)	141	14	145	15	159	15	232	16	212	16

対象範囲：リンテック(株)および国内・海外グループ会社

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

■ 地域男女別従業員数

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
日本(人)	男性	3,076	3,075	3,103	3,073	3,049
	女性	677	689	684	671	686
	合計	3,753	3,764	3,787	3,744	3,735
アジア(人)	男性	1,048	1,037	1,046	1,063	945
	女性	360	362	365	355	357
	合計	1,408	1,399	1,411	1,418	1,302
北米(人)	男性	654	690	939	966	966
	女性	342	323	268	356	349
	合計	996	1,013	1,207	1,322	1,315
ヨーロッパ (人)	男性	23	27	26	24	30
	女性	19	18	17	19	20
	合計	42	45	43	43	50
合計(人)	男性	4,801	4,829	5,114	5,126	4,990
	女性	1,398	1,392	1,434	1,401	1,412
	合計	6,199	6,221	6,548	6,527	6,402

対象範囲：リンテック(株)および国内・海外グループ会社

■ 新卒3年以内の離職率

	2022年新入社員	男 性	女 性
入社(人)	61	57	4
退職(人)	8	8	0
離職率(%)	13.1	14	0

対象範囲：リンテック(株)

■ 平均勤続年数

	全従業員	男 性	女 性
平均勤続年数(年)	20.0	20.6	16.6
平均年齢(歳)	42.8	43.3	39.9

対象範囲：リンテック(株)

新規雇用者および退職者数

		男 性	女 性	合 計
新規雇用者(人)		71	34	105
総雇用数に対する割合(%)		3.18	8.54	3.99
内 訳	18～19歳(人)	14	3	17
	20～29歳(人)	34	21	55
	30～39歳(人)	19	1	20
	40～49歳(人)	0	5	5
	50～59歳(人)	1	3	4
	60歳～(人)	3	1	4

対象範囲：リンテック(株)

		男 性	女 性	合 計
退職者(人)		67	15	82
内 訳	(1) 定年退職(人)	8	1	9
	(2) グループ会社転籍・契約満了(人)	11	0	11
	(3) 自己都合退職(人)	43	14	57
	内 訳	18～29歳(人)	7	27
		30～39歳(人)	7	21
		40～49歳(人)	0	2
		50～59歳(人)	0	6
		60歳～(人)	0	1
	(4) その他の理由(人)	5	0	5

対象範囲：リンテック(株)

就業規則などの改定実績

就業規則	従業員の定義 異動、勤務の種類	グローバル型、エリア型のコース定義、エリア表の追記(2024年4月) 「在宅勤務」「サテライトオフィス勤務」などの表現を「テレワーク」へ統一(2024年4月) ※併せてテレワークに関わる記載
給与規程	その他手当 別表1	在宅勤務手当の廃止(2024年4月) ベースアップに伴う改定(2024年4月)
通勤手当規定	定期代支給	在宅勤務による定期代支給条件の削除(2024年4月)
旅費規程	交通費	航空機のビジネスクラス使用に関し、航行時間5時間以上の地域に限定(2024年4月)
社宅規程	入居期間 社宅入居基準	選考入居者については、原則5年以内に変更(2024年4月) 転勤者の優先入居資格について「出身地への転勤を除く」の限定を削除(2024年4月)

ワークライフバランス

- メンタルヘルス対策

- 心の健康診断受診率

- 禁煙対策

- 健康促進手当支給率

- その他関連データ

- 各制度の利用状況

メンタルヘルス対策

心の健康診断受診率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
対象者数(人)	3,729	3,671	3,693	3,696	3,645
受診率(%)	91.2	96.4	97.5	95.3	96

対象範囲：リンテック(株)および国内グループ会社

禁煙対策

健康促進手当支給率

単位：％

導入時	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
57.6	67.6	67.9	68.8	69.0

対象範囲：リンテック(株)

その他関連データ

■ 各制度の利用状況

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
介護休業制度(人)	1	0	1	3	2
介護休暇制度(人)	3	3	1	2	3
保存休暇制度(人)◆	71	104	275	140	119
出産休暇制度(人)	14	25	15	19	18
育児休業制度(人)	34	32	48	76	64
(うち男性)	3	7	37	59	48
育児休暇を取得する権利を有していた従業員(人)	76	99	74	85	74
(うち男性)	66	79	62	68	58
育児休業の取得率(%)	15.8	32.3	64.9	89.4	86.5
(うち男性)	4.5	8.9	59.7	86.8	82.8
育児休業後の復帰率(%)*	93.3	100	100	98.8	98.5
子の看護休暇制度(人)◆	7	4	4	6	12
時短・時差勤務制度(人)	62	64	60	69	78
社会貢献休暇制度(人)◆	12	15	15	20	15
有給休暇取得率(%)	61.7	63.5	72.7	76.5	75.9
平均有給休暇取得日数	11.8	12.1	13.9	15.0	14.5

対象範囲：リンテック(株)

◆は育児目的として使用可能な休暇制度。

*該当年度休業修了者対象。

人材育成

● 全社階層別研修とキャリアデザイン

- 研修内容と受講件数
- 全社研修総時間

● CSR勉強会

- 行動規範ガイドラインによる意識啓発

● 情報セキュリティ教育

- 情報セキュリティ

● 技術に親しむ会

- 技術に親しむ会の実施内容

● 自己啓発通信研修

- 自己啓発通信研修受講者数

● 語学研修

- 語学研修受講者数

全社階層別研修とキャリアデザイン

2024年度研修内容と受講者数

研修内容		受講者数(人)
①新任管理職研修	管理職として必要なマネジメントの知識、スキルの習得および現場における実践力を習得する。	31*
②新任監督職研修	現場のリーダーに必要なマネジメントの知識、スキルを習得する。	39
③5年目フォロー研修	これまでを振り返りながら求められる役割を認識し、今後さらに必要となる後輩育成力について体験学習を中心に学ぶ。	34
④3年目フォロー研修	2年目を振り返って現状をグループで討議することにより、今後の目標について明確にする。	22
⑤新入社員研修	ビジネススキルと業務関連知識、自社特有スキルの基礎を習得する。社会人・職業人としての基本的な常識、職業理論などを理解する。	37
⑥職場環境改善のためのハラスメント研修(オンライン研修／録画視聴)	さまざまなハラスメントが職場環境に与える影響を理解し、生き生きと働ける職場環境づくりの構築を目的とする。	818
⑦営業職法務研修(オンライン研修)	営業活動における取引上の法的トラブルや契約違反・法令違反を未然に防止し、これらの問題が発生するおそれがある場合に迅速・適切に対処できるよう、取引、契約にかかる法律スキルを習得する。	440
⑧女性のためのキャリアアップ研修	将来の女性管理職・監督職比率の向上へ向け、仕事と家庭の両立も考慮しながら、女性のキャリア促進について学ぶ。	23

対象範囲：①～⑤、⑧：リンテック(株) ⑥、⑦：リンテック(株)および国内グループ会社

* 昨年度未受講者含む。

2024年度全社研修総時間

研修時間	受講者数	一人当たり時間
3929.5時間	1,444人	2.7時間

対象範囲：リンテック(株)および国内グループ会社
※時間把握が可能な研修のみ算出。

CSR勉強会

行動規範ガイドラインによる意識啓発

参照先 [> リスクマネジメント\(ガバナンス報告\)](#)

情報セキュリティ教育

情報セキュリティ

参照先 [> コンプライアンス\(ガバナンス報告\)](#)

技術に親しむ会

■ 技術に親しむ会の実施内容

2024年度は5年ぶりに参加対象を限定せず、研究所外からは約50名が参加しました。「LSV 2030 未来につながるリンテックの技術」をテーマに、各事業所のDXへの取り組み状況やDXの基盤インフラ用製品の開発状況、開発に必要な技術などを紹介しました。



自己啓発通信研修

■ 自己啓発通信研修受講件数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受講件数(件)	221	234	231	230	283
修了率(%)	80	79	77	83	84

対象範囲：リンテック(株)

語学研修

■ 語学研修受講者数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
語学研修受講者数(人)	20	5	10	6	6

対象範囲：リンテック(株)

労働安全

● 労働安全衛生方針

- リンテック労働安全衛生方針
- リンテック安全衛生マネジメントシステム組織図(本社・営業部門を除く)
- リンテック「安全衛生文化」の創出に向けて

● 休業災害ゼロに向けて

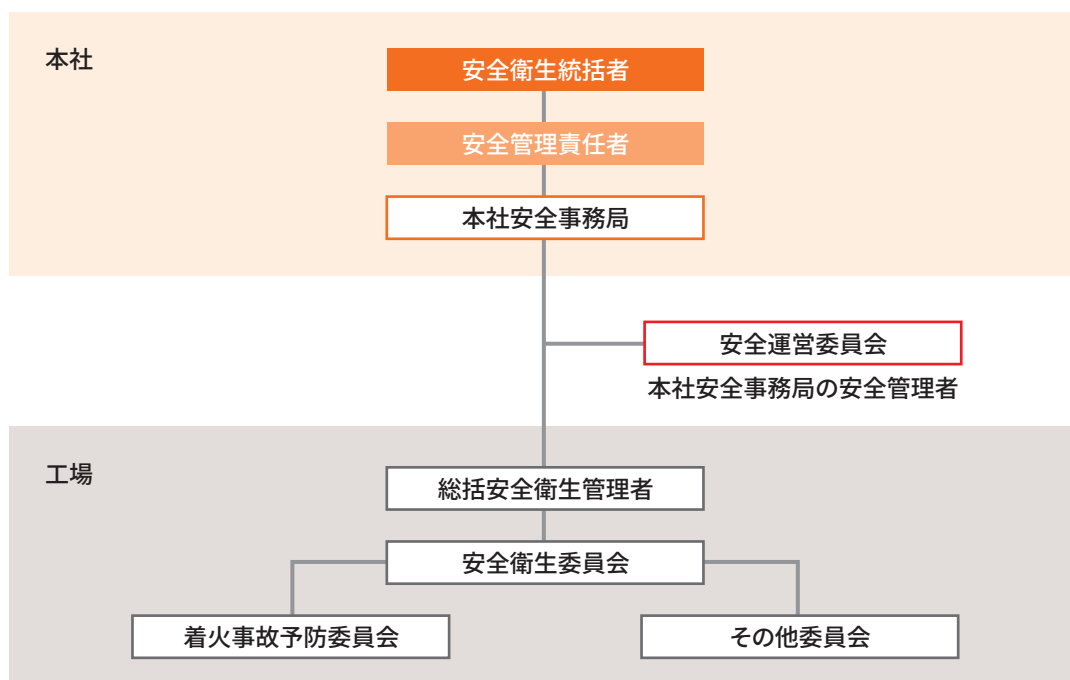
- 休業災害の発生状況
- 完全無災害達成事業所
- 事業所の取り組み
- トップパトロールを実施した生産拠点

労働安全衛生方針

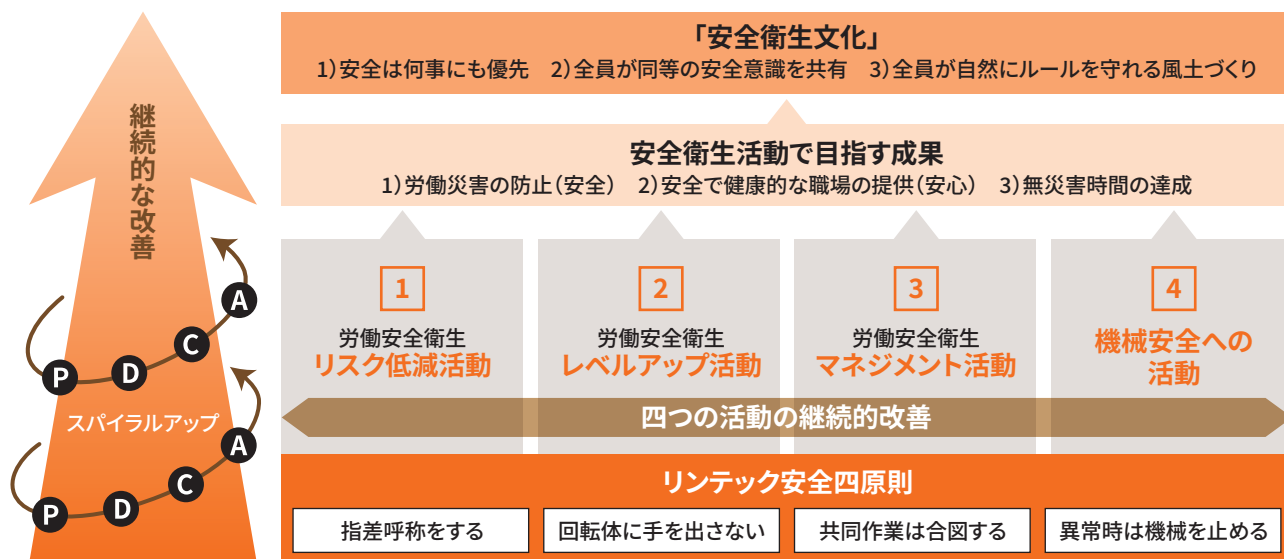
■ リンテック労働安全衛生方針

参照先 > リンテック労働安全衛生方針(会社方針一覧)

■ リンテック安全衛生マネジメントシステム組織図(本社・営業部門を除く)



リンテック「安全衛生文化」の創出に向けて



休業災害ゼロに向けて

休業災害の発生状況

2024年度は挟まれによる休業災害が1件発生しました。災害の要因とリスクアセスメントの結果が結び付くものではありませんでした。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
罹災者(人)	0	0	0	3	1
発生件数(件)	1	2	4	3	1
休業日数(日)	3	52	91	50	30
災害度数率*1	0.19	0.37	0.76	0.57	0.18★
災害強度率*2	0.0488	0.0078	0.0142	0.0077	0.0143★
発生場所	協力会社	リンテック(株)	リンテック(株) 協力会社	リンテック(株) 協力会社	協力会社

対象範囲：リンテック(株)の生産工場および研究所、東京リンテック加工(株)、湘南リンテック加工(株)

*1 100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。

*2 1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

> ★マークについてはこちら

2024年度完全無災害達成事業所

事業所	達成時間
千葉工場	200万時間
熊谷工場	150万時間
研究開発本部	150万時間

事業所の取り組み

事業所	取り組み内容
熊谷工場	構内工事における工事協力会社の災害防止を目的に、年3回工事業者が工場に集まり定期安全協議会を開催しています。危険性(ハザード)の特定と排除、リスクの最小化のために、定期的なリスクアセスメントや災害発生時、設備導入時などの臨時のリスクアセスメントを行っています。

トップパトロールを実施した生産拠点

リスクアセスメントを強化し、不安全箇所の改善と対策を講じ、完全無災害を達成させる一環として、社長によるトップパトロールを実施しています。

事業所	実施日
新宮事業所	2024年11月29日
龍野工場	2024年11月28日
熊谷工場	2024年11月22日
研究開発本部	2024年11月21日
東京リンテック加工(株)	2024年11月21日
吾妻工場	2024年11月15日
湘南リンテック加工(株)	2024年10月25日
千葉工場	2024年10月24日
小松島工場	2024年10月4日
三島工場	2024年10月3日
伊奈テクノロジーセンター	2024年8月23日

リンテックグループのCSR活動

2024年度CSR活動実績【国内】

分 類	拠 点	活 動 名
環境保全	吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、小松島工場、三島工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、東京リンテック加工(株)	・ 近隣美化清掃活動
	吾妻工場	・ 吾妻ふるさと大橋手前道路脇除草活動 ・ 岩櫃城跡周辺清掃活動
	三島工場	・ 寒川豊岡海浜公園ビーチ清掃ボランティア ・ 第76回全国植樹祭えひめ2026協賛 ・ 東町地区清掃活動
	熊谷工場	・ くまがやエコライフフェア2024 ・ ホタルを保護する会ほたる祭り ・ 荒川クリーンエイド
	千葉工場	・ 神宮寺浜海岸林保全活動 ・ そうさチューリップ祭り球根植え
	小松島工場	・ 海岸清掃活動”リフレッシュ瀬戸内” ・ 那賀川河川敷清掃活動 ・ 「森へ行こうin海部」参加
	伊奈テクノロジーセンター	・ 北本自然観察公園にて雑木林整備
社会貢献	本社、大阪支店、吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、小松島工場、三島工場、土居加工工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、東京リンテック加工(株)	・ 団体献血(延べ493名)
	文京春日オフィス、大阪支店、龍野工場、新宮事業所、三島工場、研究所、東京リンテック加工(株)	・ ペットボトルのキャップ・使用済切手の回収
	熊谷工場、千葉工場、伊奈テクノロジーセンター	・ 赤い羽根募金、緑の募金 ・ 日本赤十字社活動協力金
	吾妻工場、熊谷工場、龍野工場、小松島工場、千葉工場、伊奈テクノロジーセンター、東京リンテック加工(株)	・ 工場見学受け入れ
	本社、龍野工場、三島工場	・ 障がい者福祉施設が製造・販売するパンの購入
	吾妻工場、龍野工場、新宮事業所、小松島工場、三島工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所	・ 地域コミュニケーション(自治会参加、支援など)
	本社	・ くらりか*への支援 ・ リンテックの親子で楽しむコンサート ・ 国立競技場サッカー観戦ご招待 ・ 板橋花火大会 ・ 板橋Cityマラソン ・ 川越スマイルファームから子供食堂・フードバンクへ野菜出荷
	吾妻工場	・ 東吾妻町社会福祉協議会に災害用備蓄品、東吾妻町原町上之町にパイプイスを寄贈 ・ 浅間神社春・秋季例大祭、東吾妻ふるさと花火へ寄付 ・ 肢体不自由児募金

分類	拠 点	活動名
社会貢献	熊谷工場	- 全国紙パルプ安全衛生大会 - 熊谷うちわ祭り - 熊谷花火大会 - 熊谷えびす大商業祭 - 氷川神社八阪例大祭
	千葉工場	そうさチューリップ祭り
	龍野工場	3地区子供会六條八幡神社神輿 - たつの市観光協会および花火大会 - 近隣公立保育所(4か所)へ育成した苺を提供 - 龍野神社・小宅神社へ奉納 - 神岡スポーツ振興会ふるさとコンペ
	新宮事業所	- 六条八幡神社安全祈願祭 - 六條八幡神社秋祭り
	小松島工場	阿波踊り
	三島工場	- 疏水感謝祭 - 伊予三島秋祭り - 四国中央市土居夏まつり 花火大会 - 湖水まつり - みなと祭り花火大会 - カミンバ実行委員会・四国中央ふれあい大学へ寄付 - 三島公園桜まつりへ寄付 - 春日神社例大祭参加・寄付 - 三島太鼓祭り・土居太鼓祭りに御花寄贈 - 四国中央市産業祭へ出品 - 榎神社・興願寺へ寄付 - ふるさと大学「伊予塾」 - 近隣保育園・小学校・書道パフォーマンス甲子園実行委員会(4か所)にニューカラー寄贈 - 土居中学校バスケットボール部女子全国大会出場記念モニュメント設置協賛 - 三島高校柔道部全国大会協賛
	伊奈テクノロジーセンター	2024伊奈祭り
	研究所	- 蕨市わらんちゅフェスティバル - 中仙道武州蕨宿場まつり - わらび機まつり
	リンテックサインシステム(株)	リンテックの親子で楽しむコンサート装飾協力
	湘南リンテック加工(株)	- 地元八坂神社へのお神酒寄贈 - ネット通販ポイントのユニセフ寄付
	吾妻工場、龍野工場、新宮事業所、三島工場、伊那テクノロジーセンター、研究所	防火安全協会・協議会への参加
防犯・防災	本社	板橋警察署・富坂警察署 武道始式
	吾妻工場	「こどもあんぜん協力の家」 協力
	龍野工場	- 交通安全協会 チャレンジ100達成 - 春の全国交通安全運動「立ち番」

* (社)蔵前工業会の蔵前理科教室ふしぎ不思議の略称。

参照先

>くらしか

※ 外部サイトへ移動します。

2024年度CSR活動実績【海外】

分 類	拠 点	活 動 名
環境保全	琳得科(蘇州)科技有限公司	- 中峰寺植樹活動に参加、海棠(カイドウ)計20本植樹 - 太湖稚魚放流活動に参加、ハクレン稚魚「夏花」約2万尾を放流
	リンテック・コリア社	- 植樹の日に植樹イベントに参加 - 会社周辺の河川ゴミ拾い
	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社	- 廃水回収 - サステナブルな地球を願うお客様に代わって植樹活動 - Earth Hourの活動に参加、当社ビルのライトを消灯
	リンテック・インドネシア社	工場内エリア別清掃活動
	リンテック・ヨーロッパ(UK)社	エアコン使用削減のため当社遮熱用ウィンドウフィルム HCN-70を全ての窓に施工
	リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社	工場周辺の清掃
	リンテック・インダストリーズ(サラワク)社	- 工場近隣の道路、側溝の清掃 - Sama jaya Nature Reserve Parkにある木々のメンテナンス、清掃、亀の池で亀の野菜を植栽
	リンテック・クアラルンプール社	工場周辺の清掃
	マディコ社	- ボートランプに設置されたモノチューブでの釣り糸を回収 - アースデイにゴミ拾い - ナショナルベークグルデイに、ゴミ袋の代わりにバケツを使用してゴミ拾い
	VDI社	- アースデイにゴミ拾い - 敷地前の道路清掃
	リンテック・オブ・アメリカ社(ダラス)	ボール紙・金属・プラスチック・電池・電球・パレット・壊れたパソコンをリサイクル
社会貢献	リンテック・タイランド社、リンテック・フィリピン(ペザ)社、マディコ社	献血
	リンテック・コリア社	- 敬老堂(8か所)で名節愛分かち合いイベント実施 - 職員奉仕の会(On-Ma-Eum会)で会費を収集、社会福祉共同募金会(愛の実)に寄付
	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社	- 発達障がいを持つ子供のためのボランティア活動 - 永安児童之家(児童養護施設)への募金
	リンテック・インドネシア社	イスラム教犠牲祭のため牛1頭を近隣地域に寄付
	リンテック・タイランド社	- 職業支援のため身体障がい者の手作りキーホルダーを購入 - 未使用のパソコンや電化製品を国際身体障害者協会に寄贈 - チャチョンサオ市の小学校に当社のリサイクル廃棄物から製作した学習用具を寄贈 - 視覚障がい者のために、古い卓上カレンダーをタイ労働安全衛生推進協会に寄付、ベル文字制作
	リンテック・ヨーロッパ(UK)社	NPO法人Wycombe Mindとホームレス支援団体Wycombe Homeless Connectionへの寄付

分 類	拠 点	活 動 名
社会貢献	リンテック・フィリピン(ペザ)社	• Bahay Pag-asa孤児施設へ応急処置セット・生理用品・薬・雑貨・ビタミン剤・食品やオムツなどの日用品、また従業員自らの古着・おもちゃを寄付 • 学用品や食料などをピナンにあるマラバン小学校へ寄付 • ラグナテクノパーク主催のCSR活動に参加
	リンテック・インドシア社	• PM Caresに1,727,919ルピー(約3,000千円)寄付
	マディコ社	• フードドライブ実施、フロリダドリームセンターに食品を寄付 • リールマン消防署、フロリダドリームセンターとパートナーシップを結び、乾燥食品・缶食品・衛生品を集め、援助を必要とする地域の子供達や家族に寄付 • カナダがん協会の資金集めをするRaymond Floyd 年次ゴルフトーナメントにブロンズスポンサーとして参加 • フロリダドリームセンターに、新学期開始に合わせて500品以上の学用品の寄付と募金 • 約14キロ分の食料品をフロリダドリームセンターに寄付 • ハリケーンで被害にあった人達に物資援助をするハリケーンリリーフドライブ実施、地域の中でも一番被害の大きかったといわれるマディラビーチに生活必需品を寄付 • クリスマスに、マディコ従業員でおもちゃやゲーム・洋服・スポーツグッズ・身の回り品など200点以上の物資、募金をフロリダドリームセンターに寄付 • 第40回Courage Polar Bear Dip for World Visionに参加、ザンビアとコンゴ民主共和国のきれいな水プロジェクトのために10万ドル以上の寄付金を収集
	VDI社	• 全米多発性硬化症協会(The National MS Society)への寄付を募るサイクリングイベントに参加、1,225ドルを寄付 • 恵まれない生徒たちのため、当社従業員で学用品の寄付を募り、近隣の小学校へ寄付 • JCPSの「Adopt-A-Family Winter Celebration」を通じて、5人のホームレスの子供たちにクリスマスプレゼントを贈呈 • 第3回「Wreaths Across America」で花輪を寄付
	マックタック・アメリカ社	• マッチプログラムを通じて軍を支援 • スパータンバーグスーパークitchenをサポートするフードドライブ
	リンテック・オブ・アメリカ社(フェニックス)	• 使わなくなった事務用品や家具を地元の教会に寄付

2024年度工場・施設での受け入れ

事業所名	実施日	実施内容	参加人数(人)
吾妻工場	2024年6月17日	岩島小学校 工場見学	14
	2024年7月26日	新卒予定者 工場見学	10
	2024年8月2日		3
熊谷工場	2024年5月10日	日本工学院八王子専門学校 見学会	1
	2024年5月23日		1
	2024年7月30日	高校職場見学会	3
	2024年10月23日		1
	2024年11月12日		1
千葉工場	2024年6月3日	匝瑳市長	3
	2024年8月7日	来期高卒 工場見学	1
	2024年8月21日		2
龍野工場	2024年7月24日	龍野北高 工場見学	2
	2024年7月26日	龍野北高 応募前見学会	1
小松島工場	2025年8月5日	応募前見学会	1
伊奈テクノロジーセンター	2024年4月25日	東京会計IT 会社説明会	5
	2024年5月9日	日本工学院 会社説明会	1
	2024年5月21日	大原簿記・東京会計IT 会社説明会	5
	2024年7月5日	機械系学生向け 工場見学	1
	2024年7月23日	大宮工業 企業研修	2
	2024年7月26日	大宮工業・上尾高校・春日部工業 会社説明会	5
	2024年8月6日	産業技術高等専門 会社説明会	1
	2024年9月2日	釧路工業 工場見学	1
	2024年12月12日	オープンカンパニー	3
東京リンテック加工(株)	2025年3月27日	会社見学	9
	2024年11月30日	蕨市立西小学校 町たんけん	25

活動に対する主な表彰

拠 点	活 動 名
本社	板橋区社会福祉協議会 地域福祉の推進に貢献
龍野工場	交通安全協会 チャレンジ100達成
研究所	関東甲信越地区危険物安全協会連合会 危険物安全管理の徹底による災害の未然防止

■ コミュニティ支援費用実績

単位：百万円

2022年度	2023年度	2024年度
10.6	20.6	116.2

対象範囲：リンテック(株)

2024年度 主なコミュニティ貢献活動への寄付

> 福岡県の企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施

> 「2024年台湾東部沖地震」による被害に対する支援について

2024 CSR活動事例

グローバル企業としての責任を果たすため、国内外グループ各社において地域に根ざしたCSR活動を推進しています。

備えあれば患いなし

● 防災用品や防災食の棚卸

リンテックコマース株式会社

当社では、毎年防災用品や防災食の棚卸を行っています。

2024年は、ガスボンベなど期限が切れそうな防災用品や防災食を入れ替えました。また、2024年8月の南海トラフ地震臨時情報発表を踏まえ、今までの備蓄で問題ないか検討し、手回し式のライトなどの防災用品や追加の防災食を可能な範囲で購入しました。

今後も定期的に、防災用品や防災食の見直しを行い、万が一の事態が発生した際に被害を最小限に抑えて従業員の安全を守り、通常業務に戻れるように備えています。



棚卸をした防災用品や防災食

試行錯誤のフードドライブ

● 地域支援

リンテックカスタマーサービス株式会社 総務・経理グループ 村山 栄次(むらやま えいじ)

社会貢献活動の一環として、2024年2月から食堂の一角にフードドライブの回収ボックスを設置しました。

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集め、フードバンクや社会福祉協議会などを通じて食品を必要とされる方や子ども食堂などに寄付する活動です。

回収ボックスを設置するにあたり、社内に向け立案した際にはおおむね好意的に受け入れてもらい、設置後2、3か月の間は定期的に回収できていましたが、設置後1年経過した現在は不規則の回収にとどまっています。持続的、継続的な活動の難しさを実感し、社内でのさらなる啓蒙活動が必要と考えています。



フードドライブ回収ボックス

中目黒スーパーズ!

● 清掃団体「中目黒スーパーズ」への参加

リンテックサイнсシステム株式会社 事業管理部 事業企画課 高城 弘志(たかぎ ひろし)

当社は2025年3月に、目黒区が活動支援を行う地域のボランティア清掃団体の活動に参加し、中目黒駅周辺を中心にゴミ拾いを行いました。

通勤時に通っている道に、缶、ビン、ペットボトル、たばこの吸い殻など多くのゴミが落ちており、特に道路脇の植え込みの中に大きなゴミがあったことに驚きました。

今回の活動で、ただ単にゴミを拾うのではなく、多くの学びと気づきが得られたと感じています。今後も定期的にこの活動に参加し、環境問題に対する意識の向上と、地域への貢献活動に努めていきたいと考えています。



「中目黒スーパーズ」活動のようす

月平均5.7tの削減

● 太陽光発電による二酸化炭素排出量の低減

湘南リンテック加工株式会社 品質保証 三間 康(みや やすし)

2024年4月より、当社の工場屋上部を有効に使い、太陽光パネルを設置し、発電を開始しました。土地柄周囲には高層建築物などが存在しないため、太陽光を十分に受けて工場使用電力の約3割程度を賄うことができました。さらに2024年度の年間CO₂削減量は68.4tとなり、月平均5.7tの削減ができました。当社だけでは微々たる削減かもしれませんが、将来永続的に小さな努力を重ねることで、地球環境の保護につながっていくと信じています。



設置した太陽光パネル

誰もが気持ち良く過ごせるために

● 事務所近隣清掃

リンテックサービス株式会社 管理部総務課 大野 智昭(おおの ともあき)

当社では、週に一度事務所周辺の清掃活動を行っています。

地域社会の環境保全への貢献はもとより、事務所が住宅街にある関係上近所の住民の皆さまとの交流も目的の一つとなります。活動を継続していく中で、地域住民の皆さんとご近所さんとしてのつながりができたことは大きな成果の一つと考えています。

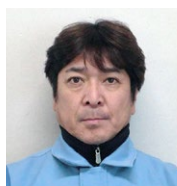
2024年度下期より、従来月に一度行っていた清掃活動を週に一度としました。事務所脇のゴミ集積場の管理など、より住民の皆さまと協力し環境保全に貢献できるよう活動を継続していきます。



清掃活動のようす

走れ、EVトラック!

● 環境保全



東京リンテック加工株式会社 事務部 運輸課 尾迫 伸一(おさこ しんいち)

近年、企業は事業活動だけでなく責任を果たすことを求められており、SDGsを意識した事業計画に取り組む企業が増えています。

当社では、EVトラックの導入を進めています。バッテリーから供給される電力を動力源とするため、二酸化炭素や有害排出物を一切排出しない点が最大の特徴で、それにより環境への負荷が大幅に低減され、大気汚染問題の解決に寄与します。

EVトラックを導入することは環境や社会に配慮し、社会的責任を果たす取り組みの一つであり、企業価値の向上に加えステークホルダーからの信頼性向上にもつながります。

今後も、環境保護に貢献できるように運用していきたいと思っています。



EVトラック

安全は意識から

● 継続的な安全講習



琳得科(蘇州)科技有限公司 総務労務部 裴 庭榮(ペイ・ティンロン)

安全委員会の主催で2025年3月、「安全な電気の取り扱い」をテーマとする安全講習を実施しました。電気に対する安全意識の強化と事故発生の予防を目的に、従業員124人が参加しました。

工場長が講師を務め、電気事故の発生原因や特徴、電気関連のリスクや火災・感電事故の事例、電気安全作業、感電事故発生時の緊急対応、電気火災事故発生時の緊急対応を詳しく説明しました。

2022年から四半期に1回、安全講習を開催し、2025年3月末までに13回の講習を行いました。今後も安全講習を通じて、従業員の安全意識を継続的に向上させ、工場の安全操業を維持していきます。



安全講習のようす

行動規範ガイドラインパズルはいかがですか?

● Team building activities



リンテック・オブ・アメリカ社 ナノサイエンス&テクノロジーセンター
メカトロニクス部門 Phillip Wittel(フィリップ・ウィッテル)

従業員同士の連携強化を目的に、リンテックグループの価値観を表す行動規範ガイドラインをパズルにし、従業員が組み立てる活動を行いました。

活動を通じて、行動規範ガイドラインについての理解が深まるとともに、部署やチームを越えた同僚との交流により一体感が強まりました。

また、社内で良好な関係を維持し、部署を越え協力を促進することの重要性を再認識する機会となりました。



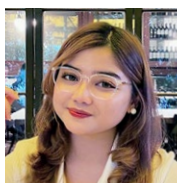
活動に参加したメンバー



パズル組み立てのようす

思いやりの輪が広がる食事会

● 従業員交流



リンテック・ジャカルタ社 人事・総務部 Bella Alvionita(ベラ・アルヴィオニタ)

2025年3月、南ジャカルタにあるホテルでラマダン中のイフタール*に合わせて、従業員同士の絆を深めること、ラマダンの精神を祝うこと、そして従業員が職場以外の場所で自身と向き合い、リフレッシュすることを目的とした食事会を開催しました。

従業員が部署の垣根を越えて親睦を深めることで、社内でお互いを気遣うことの重要性を再認識する機会となりました。

思いやりの精神であふれ、人々がつながる文化を育むためにも、今後もこのような活動を続けるとともに、当社だけでなくさまざまなステークホルダーにも広がることを願っています。

*イフタール：イスラム教徒がラマダン期間中の日没後、日中の断食を破る食事



食事会のようす



食事会に参加したメンバー

マディコ発!10万ドル越えの寄付活動

● The Courage Polar Bear Dip



マディコ社 Cheryl Singleton(シェリル・シングルトン)

「カレイジ ポーラーベア ディップ」は、1985年から続くイベントです。当初はマディコ・カナダの従業員が数人の友人と行っていた小規模なイベントですが、次第に参加者数が増加し、1995年にワールド・ビジョン・カナダと提携しました。それから世界中の水の浄化プロジェクトを支援するために250万ドル近くの寄付金を集めてきました。2025年は40周年を祝い、700人以上の参加者や数千人の観衆と共に10万ドルを超える寄付金を集めました。

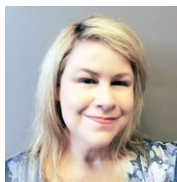
当社は、このイベントのスポンサーを担っており、マディコ・カナダの従業員は毎年、イベントの企画やボランティア参加を行っています。



「カレイジ ポーラーベア ディップ」のようす

思いやりギフトでクリスマス

● 地域の子供達を支援 ホームレスの学生達にクリスマスギフトを贈呈



VDI社 Toni Doughty(トニー・ドーティー)

当社の学区には推定3,600人のホームレスの子供がいます。安定した家庭で安心感を得られなかったり、清潔な洋服もなく、安全な睡眠環境が欠如している子供は、学習能力が著しく低下するといわれています。

当社では、5歳から14歳までのホームレスの5人の兄妹に冬用のコート、洋服、おもちゃを提供しました。一番年上が男の子で、下の4人は女の子でした。この幼い子供たちが揃って辛い生活を送っている現状を知り、私たちは非常に心を痛めました。

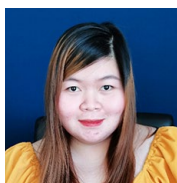
教師から子供たちの好きな色と、一番必要な物資のリストを提供していただき、特別かつ役立つ物品を選び、ギフトとして彼らが開封できるように包装しました。これらのギフトは、子供たちとその家族のために開かれた冬のクリスマスパーティーにて贈呈されました。



贈呈したクリスマスギフトと活動に参加したメンバー

シンプルで強力な思いやりの行動

● 献血活動



リンテック・フィリピン(PEZA)社 ISOファシリテーター/品質保証
Chezny Happy Casin(チェズニー・ハッピー・カズイン)

地域福祉と持続可能な社会貢献活動に取り組む中で、2024年11月、当社はフィリピン赤十字社と提携し、社内献血を実施しました。

従業員の60%が率先して参加したこの取り組みは、単なる企業活動を越え、連帯感と思いやり、そして社会的責任を心から示す活動となりました。

集められた献血一滴一滴が命を救う力を持ち、全国の病院や支援を必要とする患者にとって欠かせない支えとなります。

この献血活動の成功は、当社の持続可能で包括的な成長への大きな一歩であり、小さな行動でも力を合わせれば、人生を変えるような結果につながることを証明しました。



献血活動のようす

リサイクルでつなげ、子供たちの未来!

● Toy donation to SAKAT80 School



リンテック・タイランド社 人事総務
Chawinda Isarankura Na Ayudhya
(チャウインダ イッサランクーン ナ アユッタヤー)

当社は工場近隣の学校を支援することで地域コミュニティにおけるCSR活動を推進し続けています。

毎年9月、当社の従業員は安全週間の活動の一環として工場の廃棄物をリサイクルし、おもちゃや学習用品を製作しています。

製作物は全てチャチョンサオ市の小学校に寄贈し、子供たちの成長を促進するための教材として使用されています。



寄贈したおもちゃや学習用品



子供たちと活動に参加したメンバー

新設備で省エネ・暑さ対策

● 老朽化に伴う社屋空調設備の更新



普林特科(天津)標籤有限公司 総務課
李 大為(リー・ダーウェイ)

本社からの支持を受け、会社設立から13年経って老朽化していた空調設備の更新工事を2年間に分けて実施しました。今年ようやく全ての空調設備が更新され、インバーター付きの空調に刷新されました。中国では商業向け電力費用が高騰しています。

今回の更新工事により省電力化につながり、排出されるCO₂の量も削減できる設備となりました。



新型エアコンのコントローラーパネル



新型エアコン室外機

官民パートナーシップで守る豊かな緑

● SECA Tree Planting 2024



リンテック・インダストリーズ(サラワク)社 総務人事担当 幹部
Michael Benzi Jr(マイケル・ベンツィ・ジュニア)

当社が参画するサラワク電子・工業協会において、クチン南部市議会、サラワク州国際貿易産業投資省の協力の下、官民パートナーシップによる植樹プロジェクトが始まりました。

このプロジェクトは、工業団地の緑豊かな景観を保持するとともに、生物多様性の促進、大気の改善などサラワク州の幅広い環境目標への貢献を目指しています。多様な在来種を植樹することで、地域の美化だけでなく、産業活動による二酸化炭素排出量の削減にも貢献します。

当社を含む参加企業のメンバーや地域議会議員、サラワク電子・工業協会の代表者が自ら植樹活動に参加することで、チームワークと環境への責務をあらためて強く感じました。



活動に参加したメンバー



サマジャヤ自由産業区での植樹活動のようす

継続は力なり

● 環境保全／社会貢献



リンテック・アドバンス・テクノロジーズ(台湾)社
総務人事部 李 思潔(リー・スージェ)

2025年1月、当社は台湾の高雄市にある茄萣(かてい)で植樹活動を行い、300本の植樹を行うとともに、樹木の保全活動のため雑草の除去を行いました。2018年にこの活動を開始してか

ら植樹の本数は、合計で1,425本になりました。

また、2023年から発達障がいの子供向けの支援活動として、支援センターのボランティアに参加しています。今年度は、近所の散歩、運動会、クリスマスイベントの3つの活動に参加しました。

今後はボランティア活動だけでなく、長期的に発達障がいの子供向け施設を支援することで、企業の社会的責任を果たし、地域との連携を深める機会を増やしていきたいと考えています。



植樹活動のようす



活動に参加したメンバー



クリスマスイベントのようす



活動に参加したメンバー

初！海を越えた意見交換会 (2025年4月)

サステナビリティ推進室 小西、峯崎、佐藤

リンテックグループ本社にて、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社(以下、LATT)とリンテック サステナビリティ推進室(以下、当室)による意見交換会を実施しました。

当日は「RBA(Responsible Business Alliance)対応」および「CSR活動」をテーマに両社の取り組み状況や考え方の共有を行いました。



左から峯崎、佐藤、LATT 李さん、LATT 戴さん、小西

▶ 企業と社会が持続可能であるために

RBAは、サプライチェーンにおける労働者の権利や福祉を支援する非営利組織です。その行動規範では労働者の権利や福祉を尊重したビジネスが行われるための基準が定められており、それに基づいた監査も行っています。RBAへの対応は、半導体業界を中心としたお客様からの要望が高まっていると同時に、企業として持続可能な成長を目指す上で非常に重要な取り組みです。

こうした認識を共有しながら、両社の体制や社内教育に関する取り組みを紹介し合い、対応のあり方について率直な意見を交わしました。お互いの経験や工夫に触れる中で、多くの気づきがあり、理解を深め合う貴重な機会となりました。同時に、今後も継続的な教育や拠点との対話、相互協力がとても重要であることを再確認しました。

▶ 多種多様なLATTのCSR活動、驚きの参加率

LATTでは、地域性のあるユニークなものから、従業員の健康に配慮したものなど多種多様なCSR活動を行っており、それらは明確な目的を持ちながら実施されていました。

非常に魅力的な事例だったのは、お客様の「環境に貢献したい」という声を受け、代理で行う植樹活動の取り組みです。展示会などの機会を活用し、来場されたお客様にQRコードで参加を募り、植樹後にはしっかりと報告を行うなど、企業とお客様が一体となった環境保全活動を実現しています。また、LATTの従業員は少なくともこれらのうち一つの活動に参加しており、活動への姿勢や意識の高さがうかがえました。

▶ さまざまな状況の中でも同じグループとしてあるために

当室では、各拠点がCSR活動を検討する上で「グループ全体が同じ方向を向くことが重要」と考えています。文化や業態など各拠点が直面する社会課題は異なるものの、その先に目指す社会のあり方や、それに伴う考え方は、私たち全員が共有できるものです。

それを受け、国内グループ会社と当室で行っている国内グループ会社CSR委員会の中で考察してきた「CSRの本質を改めて考える」という取り組みをお伝えし、その一例として、リンテックサインシステムの地域清掃活動を通じて、社員の成長や企業価値の向上につなげている活動事例を紹介しました。



LATT 家族と参加する農場体験のようす



LATT 湿地保護活動のようす



リンテックサインシステム 地域清掃活動のようす

▶ 楽しくも考えさせられる時間、そしてさらなる飛躍のために

この交流会では、笑顔を交えながら活発に情報共有と意見交換が行われました。CSRは単なる社会貢献ではなく、環境、人権、地域社会への取り組みや公正な事業活動など、企業全体に関わる幅広い取り組みで、企業が社会と向き合い、共により良い未来を築いていくために重要な活動です。それぞれの会社が置かれた状況や課題に応じて「身の丈に合った活動」を考え、実行していくことが求められます。

リンテックグループ全体で目線をそろえ、グローバルにCSRを推進していくためには、意見交換の場が非常に有意義です。これからの対話と情報共有を通じて、互いに学び合い、高め合いながら、より良いCSR活動の実現を目指します。

LATT 李さん

「CSRの本質を改めて考える」という国内グループ会社CSR委員会の取り組み紹介が最も印象的でした。当社でも改めて確認し、今後の活動計画策定の参考にしたいと思います。
また、CSR活動における期間や目標設定に関する話し合いは大変有意義でした。



意見交換のようす

LATT 戴さん

CSR活動についての協議が印象に残っています。
リンテックサインシステムのブランドプロモーションにつなげるためのアイデアや、参加者へのヒアリングは、特に参考になりました。
CSR活動を通じて、海外各社でLINTECの理念を実践することは、とても意義深いと思います。
今後も皆様とともにCSR活動の推進に努めます。

■ 目次

コーポレートガバナンス

コンプライアンス

リスクマネジメント

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス強化の取り組み

年 度	取 り 組 み
2021年	・社外取締役が5人体制に ・独立社外取締役比率が1/3(12人中4人)に ・「コーポレートガバナンス委員会」の構成・機能を拡充。委員は独立社外取締役全員および代表取締役全員ならびに社外有識者とし、過半数を独立社外取締役としたうえで、委員長を独立社外取締役の中から選任。役員の指名および報酬の妥当性を確認し、コーポレートガバナンス全般に関する意見形成、助言・提言なども行う ・「コーポレートガバナンス委員会」を「指名・報酬委員会」に改称
2018年	・役員報酬制度を改革(役員の自社株保有促進のため、長期インセンティブ報酬を「株式報酬型ストックオプション」から「譲渡制限付株式」に変更) ・「大規模買付ルール」(いわゆる「買収防衛策」)を廃止 ・取締役会の諮問機関として、独立社外取締役を議長とする「コーポレートガバナンス委員会」を新設(独立社外取締役2人および代表取締役1人で構成し、役員の報酬・人事に関し妥当性を確認する委員会。これに伴い「評価報酬諮問会議」は解消)
2015年	・「監査等委員会設置会社」へ移行(以前は「監査役会設置会社」) ・取締役16人体制(監査等委員である取締役4人を含む)となり、うち4人が社外取締役 ・「コーポレートガバナンス・コード」の各原則を全て遵守・実施
2011年	・執行役員制度を導入し、取締役を大幅減員(18人→10人)
2008年	・「CSR推進室」を新設 ・社外取締役が2人体制に
2006年	・「監査室」を新設 ・役員報酬制度を改革(「退職慰労金」廃止、「株式報酬型ストックオプション」導入) ・「評価報酬諮問会議」を新設(役員報酬の妥当性を確認する会議体)
2004年	・初めて社外取締役を選任

2024年度法務研修

実施月	対 象	内 容
2024年12月	取締役および執行役員	中国におけるビジネスリスクおよび会計監査に関する最近の動向 ほか
2024年11月	新任監督職	監督職として知っておくべき法的リスク
2024年10月	新任管理職	管理職として知っておくべき法的リスク
2024年9月	取締役および執行役員	認定基準不正と役員の責任
2024年7月～2025年1月	営業職ほか	営業職向け法務研修(全6回)

※上記のほか、海外赴任者に対する法務研修を都度実施。

コンプライアンス

発行したリーガルニュース

発行	No.	タイトル
2024年度	No. 63	2024年度のリーガルニュースまとめ
	No. 62	令和時代のハラスメントって？
	No. 61	契約書に収入印紙を貼らないとどうなるの？(印紙税②)
	No. 60	「下請いじめ!!」信用を損なう下請法違反(下請法③)
	No. 59	他部門長名で契約済みの業者と取引開始。新たに契約を結ぶ必要ある？
	No. 58	長い間保管している個人情報、持っていて良いの？
2023年度	No. 57	2023年4月から2024年3月までのニュースまとめ
	No. 56	うっかりでは済まない! 性能・品質表示の間違い
	No. 55	販売品に不具合があり購入者から多額の請求、どこまで負担が必要？
	No. 54	自分には関係無い? 社員も守るコーポレートガバナンス
	No. 53	指導のつもりがバワハラの訴え、その違いは？
	No. 52	部下の不正による損害、上司が弁償する必要ある？
2022年度	No. 51	2022年4月から2023年3月までのニュースまとめ
	No. 50	退職した先輩社員から社内資料の送付依頼、送っても良い？
	No. 49	インボイス制度に伴う、注意が必要な行為(下請法、独占禁止法からみたリスク)
	No. 48	インボイス制度ってなんだろう？
	No. 47	公益通報者保護法改正と当社内部通報制度の改定について
	No. 46	最近の「独占禁止法」違反事件

CSR勉強会開催実績

年度	対象	タイトル
2024年度	全社	行動規範ガイドライン新旧比較版の周知
2023年度	海外グループ会社*1	31社、1事業所／1,384名
2022年度	リンテック(株)	2,707名(2022年3月に実施した伊奈テクノロジーセンターを含む)
	国内グループ会社*2	7社／363名(2022年3月に実施したリンテックカスタマーサービス(株)を含む)

*1 琳得科(蘇州)科技有限公司、普林特科(天津)標簽有限公司、リンテック・アドバンスト・テクノロジー(上海)社、リンテック・スペシャリティ・フィルムズ(台湾)社、リンテック・ハイテック台湾社、リンテック・アドバンスト・テクノロジー(台湾)社、リンテック・コリア社、リンテック・スペシャリティ・フィルムズ(韓国)社、リンテック・アドバンスト・テクノロジー(韓国)社、リンテック・アジアパシフィック社、リンテック・シンガポール社、リンテック・インドネシア社、リンテック・ジャカルタ社、リンテック・タイランド社、リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社、リンテック・クアラルンプール社、リンテック・アドバンスト・テクノロジー(マレーシア)社、リンテック・ベトナム社、リンテック・ハノイ・ベトナム社、リンテック株式会社ハノイ事務所(現リンテック・アドバンスト・テクノロジー(ベトナム)社)、リンテック・アドバンスト・テクノロジー(フィリピン)社、リンテック・フィリピン(ベザ)社、リンテック・インドア社、リンテック・USAホールディング社、リンテック・オブ・アメリカ社、マックタック・アメリカ社、マディコ社、VDI社、リンテック・ヨーロッパ社、リンテック・ヨーロッパ(UK)社、リンテック・アドバンスト・テクノロジー(ヨーロッパ)社

*2 リンテックコマース(株)、リンテックサインシステム(株)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、リンテックカスタマーサービス(株)、プリンテック(株)(現リンテックサインシステム(株)プリンテック事業部)、東京リンテック加工(株)

リスクマネジメント

内部通報などの件数および運用状況

手 段	2023年度	2024年度
内部通報(国内外)への通報	3件	6件
ハラスメント相談窓口への相談	7件	7件

※内部通報は主な受け手を外部の弁護士として適正に対応しており、通報・報告をしたことを理由として不利な取り扱いを受けることはありません。また、全件取締役会にて報告されています。
※ハラスメント相談窓口は外部専門家を受け手としており、当社にはその概要のみ報告されます。